

獅

平成元年
11月号

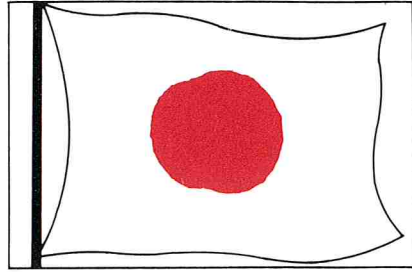
友

1989
November

平成元年十一月一日（毎月一回一日発行）
第三十五卷第十一号（通巻四一七号）



基金募集の推進に 積極的な努力を!!



表紙写真の解説

写真家 宝蔵寺 忠

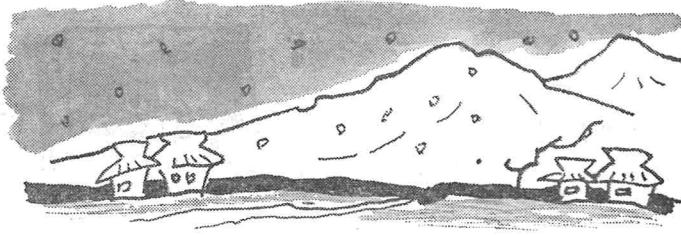
自然美散策(八甲田山秋景)

青森県青森市八甲田所在

八甲田山は大岳(一五八四米)を主峰に田茂^{たも}范^{はん}岳(一三三四米)・高田大岳(一五五二米)など八つの峰からなる旧火山の連峰で、のびやかに裾野を広げる自然境。山腹をアオモリトドマツ・ブナの原生林に覆われ、山頂付近には高山植物の咲き乱れる湿原がちりばめられた牧歌的な高原風景をくりひろげ、また豊かないで湯にもめぐまれて美しい自然景観を見せている。

八甲田山へは青森市内から県道で南へ約二十二軒、雲谷^{くもや}峠を経てロープウェイ山麓駅に着く。ここから田茂范岳山頂近くまでロープウェイあり、百人乗のゴンドラが山頂駅まで約十分で運んでくれる。山頂からの展望は素晴らしく、北には雲谷峠の小さなコブをはさんで青森市街、陸奥湾、津軽半島の眺望、西方は津軽富士(岩木山)が遠く望める。また山頂付近には手軽に散策を楽しめる「八甲田ゴールドライン」と名づけるコースがあり、二十分コースと六十分コースとがあって、シャクナゲやハイマツ、田茂范の池など高山の自然をコンパクトに満喫できる。このシーズンには多くのマイカーや、観光バスなどで賑わうが、この一見のどかな風景も間もない冬の訪れと共に想像を絶する厳しさを表わす。去る八十七年前の世界山岳遭難史上最大の大惨事となった、青森第五連隊の悲劇を忘れないで欲しい。

郷友目次 (11月号)



巻頭言.....	(2)
日本人の心を育てる教材への要望.....	時代を刷新する会(3)
日共に噛みつかれマスコミの虚構報道に伏した潜水艦(なだしお).....	重野 義夫(10)
ソ連全土に燃え広がる民族闘争の業火.....	斎藤 忠(15)
軍事常識―地対艦誘導弾(SSM).....	五十嵐 晃(19)
戦いの九原則(その5).....	武岡 淳彦(21)
祖国日本に愛と誇りを持つ子を育てる(その4).....	多田三重子(25)
「郷友オペニオン」(上妻正康・上村風).....	(29)
現代に見る間接侵略・革命(十七).....	狩野 信行(33)
ソ連取材旅行報告.....	川野 久男(37)
忘却と哀愁の島・樺太今昔物語.....	扇 真雄(39)
錦帯橋は語る.....	岩政 寛隆(43)
郷土の城(27).....	佐々木信四郎(45)
自衛隊だより.....	(49)
新隊員の日(122)(え・柏木康武).....	牧野 良祥(51)
戦史物語―花大人・花田仲之助.....	森松 俊夫(52)
地方だより(和歌山・石川・愛知).....	(55)
私の胸奥に去来するもの・年貢なしの日のこと.....	伊藤喜代子(57)
郷友基金醸金者ご芳名(新・5回目).....	(59)
俳壇・歌壇・柳壇.....	(60)
編集後記.....	(68)



更に旧軍人会員による会勢拡大を

会長 堀江 正夫

会長を仰せつかつて、既に半年が経過し、この間関係者のご協力を頂き、まず只管にわが連盟の実態の把握に努めてきた。

そしてその結果として今沁々と感ぜられる第一は、中央及び地方で管々と連盟を今日まで、育成してこられた先輩各位に対する心からの敬意と感謝の気持である。

同時に私の頭を大きく支配しているのは、いうまでもなく、この先輩のご努力を更に発展させ、郷友の理念と目的を達成するための方途を如何にするかということである。

そのためには、会勢、財務、郷友誌、中央と地方との一体的関係等々、どうしても解決しなければならぬ多くの基本的課題が、依然として存在していることを、まず卒直に認めざるを得ない。

これらのうち本号では会勢の問題について若干考えて見たい。

会勢の維持拡大は総ての問題の原点である。今日までわれわれは、老齢化による会員の減少と活動の鈍化を、主として中心となる会員の並々ならぬ努力奉仕によってカバーし、更に婦人部と青年部の拡大に求めてきた。

極めて適切な対応であり、基本的にはこれ以外の方法はないであろう。

ここで敢て一つの提案をしたい。それは旧軍人に焦点をあてた会勢の拡大である。今更とていご意見も当然である。しかし私が着目したのは最近の各戦友会活動の活発さである。勿論各戦友会とは本質的に違う面のあることは当然であり、そう簡単な問題ではないであろう。いや各位には既に実行済みのことに違いなからう。それを敢えてここで申上げるのは、私の会勢拡大への苦悩に対し、非会員の戦友数氏から、最近このような提言が相ついで寄せられたからである。

婦人部や青少年部の拡大強化についても、更に積極有効なご提案を頂き、中央地方一体となり実行して行きたいものである。

(九・五記)

日本人の心を育てる教材への要望

時代を刷新する会

教育荒廃の原因

わが国は、産業、経済、技術面では驚異的な発展を成し遂げ、国際社会における期待と課題は、ますます増大しております。反面、人間性や精神面での貧困さが目立ち、いまや、「物で榮えて、心で滅びる」現象が憂慮されております。

こうした教育面、精神面の荒廃は、学校、家庭内暴力やいじめ、登校拒否に見られる衝動的、残虐的な非人間的、非道徳的な事件が後を断たず、学校教育を中心とする教育の在り方が強く問われております。

これまで、教育問題や事件が発生するたびに、「ゆとり教育」「豊かな人間性の育成」「個性の尊重の教育」「調和のとれた心と体」「自主性を育てる」等、さまざまな教育の強化が実施されてきましたが、その根本的解決には至らず、教育のむずかしさを示しております。

この憂うべき教育の荒廃をもたらした原因は、一体どこ

にあるのでしょうか。

そもそも教育は、「人の人たる道（道義）を教え、その道義を支える心（魂）の育成」であります。従って、言葉や理屈だけでは成り立たないところが多々あります。この教育の原典を見究めず、いたずらに理論にはしり、合理的に推し進めようとしているところに問題の根があるのではないのでしょうか。

その第一は、今日の教育が、「個人の尊重」を強調するあまり、社会生活の反面としての、家族の融和、友達との友愛、郷土を愛する心、他人への責任感、社会との協調、国家への義務感など、そうした「個人と全体との関係」について教えておらず、自己中心的な個人の実現を招来する結果となっています。

巷にみる家族関係の混乱、地域社会をはじめ公共施設や場所を私有化し、ゴミを投げ捨てたり、自転車等の放置にみられる道義心の頹廃。国や地方行政に対する偏見的で、

無責任な批判、反動的行動。また、国際社会において「エ
コノミックアニマル」「無国籍日本人」と称されるなど、
日本人の道義は、文化人というには余りにも地に落ちた状
態です。

第二は、敗戦による占領政策に起因するところが大とい
えましようが、独立後も、過去のことはすべて、罪悪であ
るといふ認識や世論。歴史と伝統を曲解、歪曲した「戦後
教育」の「つけ」が回ってきたといえましよう。

いずれの国も、自国の歴史、伝統・文化を重視し、国民
的自覚や誇りを持つように教育しています。しかし、日本
では自国の歴史、伝統・文化を蔑視し、また、否定するよ
うな偏向教育が行なわれ日本人としての自覚や誇りが育成
されず、日本の国の本当の姿を知らない日本人が多くなっ
てきています。

歴史の古い我が国は、民族性や優れた伝統文化が形作ら
れ、その真価は世界の国々の注視するところとなっていま
す。その優れた伝統・文化や伝承さえも排除し、学校教育
の場でも、これらを教えないために、自国の民族性や伝統
・文化・伝承・風俗・生活慣習等を理解せず、いたずらに
他国のことのみを目を向け、日本を知らない日本人「無国
籍日本人」が多くなっています。

抜本的教育改革を行政に望む

教育の実効は、教育行政によらなければならない面と、
教育の場としての家庭・地域・学校のあり方によらなけれ
ばならない面とがあります。

前にも述べたように、教育の原典は「人の道を究めるこ
と」にあります。いま、日本の教育に欠けているものは
「心の教育」であります。それだけに、直接、児童生徒及
び父母一人一人の国民的意識を高め、日本人の心、情操、
人間性を培い国民的自覚や誇りをもった人間の育成が強く
望まれます。

「日本人らしさ」を育てる教育

戦後の日本の教育は、「日本人らしさ」を育てることを
タブー視してきました。日本人とか国家、国民意識の高揚
を言うとは反動的で、国家主義であると曲解される傾向があ
りました。このことが、日本人の国民的自覚の育成に大き
な障害となったことは否めません。

学習指導要領の改訂で、道徳教育の強化、国旗・国歌の
重視、生活科の新設、国語教育の充実等、国民的資質の向
上や豊かな人間性の育成をめざして、教育の改善がいろい
ろと進められています。それにはそれなりの意義があり、
その成果を期待することもできましよう。

しかし、真に一人一人の人間に宿る日本人の心の育成は
望めないのではないのでしょうか。

昨年来、全ての日本国民の関心を揺り動かし、けじめある解決を迫られているリクルート問題も、単に事件の白黒を明らかにするだけでは国民は納得しないのではないでしょう。人々の心の底に「政界人らしさ」「財界人らしさ」を感じられる言動や倫理観が求められているものといえます。

動物の子育てに学ぶ

動物飼育の専門家が、「どんな動物でも人工飼育した動物を、もとの野生へ戻すことは並大抵なことではない」と、言っています。

人工飼育によって育てた動物は、その動物の本能的習性まで変えて、その動物らしさを失ってしまうということでしょう。

こうしたことは、かつて、世界的話題となった「狼少女」の例でも明らかであります。

私は、以前に、猫がどのようにして猫らしい習性を身につけるのかを観察したことがあります。

生まれて間もない子猫は、足の向くまま親元を離れて行きます。すると母猫は首ったまをくわえて元のところへ連れ戻します。子猫たちは互いに鳴き声を確かめ合うように離れたり寄り添ったりします。一日中、何十回ともなくこのことを繰り返します。こうして日一日と親からの距離を増し

ていきます。

次は、獲物捕りです。チョイチョイと片足で獲物をあしらっては引き下がり、腹ばい姿勢でじっと見守る。急に勢よく飛びつき両足で押さえ込み、素早くくわえる。時折、母猫が手本を示す。この時期を過ぎると、いよいよ本物に似ていく。

やがて、木登り、爪とぎ、遠出を身につけて一人前となる。この間、母猫は子猫を見据えている。遠からず近からず子猫の無謀には厳しく、甘えや怠けには手をかささない。子猫が猫らしい習性を身につけた日、母猫は子猫を突き放し二度と近寄せない。

「らしさ」を育てるには、生み落して一人立ちするまで、そのものの独自の育て方があり、間断があってはいけない。

かつて、日本の家庭教育・地域・学校教育にはそれが確立していたのです。そして、その媒介となったものが、日本の伝統・文化、伝承です。

「日本人の心」を育てる伝統・文化と伝承

日本には、昔から「○○家らしい人」「××県人らしさ」また、職業の面でも「△△屋らしさ」等、らしさの中に、人間の価値の存在を見出して、人づくりの教育をしてきました。

国際社会の中に認められ期待に答える日本人らしい日本

人を育成するために、古くから歴史の中で、民族が形作った伝統・文化とその伝承の慣習を取り戻し、日本の優れた教育の特性を生かすことが重要であると考えます。

その結果、「日本人の心・情操・人間性」を育成するためには、伝統・文化、国土の自然、人々の業績とその伝承の仕方に教育的価値のあることを見出し、以下に示す趣旨の要請にまとめ、文部大臣及び関係各機関に要請をいたしました。成文には意とするとところが不十分であります、荒廃した日本教育刷新のため一層のご協力をお願いいたします。

日本人の心・情操・人間性を育成するための教材についての要請

要請の趣旨

わが国は、物質面・技術面では驚異的な発展を成し遂げましたが、反面、人間性・精神面での貧困さが目立ち、いまや「物で栄え、心で滅びる」現象が憂えられておりません。

こうした教育面・精神面の荒廃の原因は多々ありましようが、私どもは是正のための基礎として、教材（教科書・副読本・その他の教材、以下教材という）の見直しが重要であると考え、これを以下の理由に詳述するように、一、民話・おとぎ話・ことわざ、二、心に残る小学唱歌・童謡

三、神話・祭り・宗教行事、四、国土の美しさ、五、伝統・文化遺産、業績の五つの面に分け、それぞれ現在の教材に欠けている点を具体的に指摘し、これを家庭教育・幼児教育・児童生徒教育、生涯学習の教材へ採り入れることによって、日本人の心・情操・人間性を養っていただき度く、ここに要請する次第であります。

要請の理由

一、民話・おとぎ話・ことわざ等を教材へ

歴史の古い国では、国土・習慣・生活の中で培われてきた「伝承文化」が存在し、それらに国民の情感・願望・教訓など所謂「国民性」が織り込まれております。

わが国にも、古くから伝えられてきた民話やおとぎ話・童話が数多くあり、過去においては、それらが親から子、家族、友達の間で語り継がれて、親子のつながり（愛）や友愛など躰の規範として、家庭教育面で効果を挙げ、また、それらが教材として児童生徒の情操や徳育面でも役立って参りました。

しかるに、戦後の占領政策によって、古い伝統的なものはすべていけないとする風潮があつて排除された結果、例えば、桃太郎・一寸法師・さるかに合戦・舌切り雀・花咲爺さんなどの民話・おとぎ話、あるいは、いろはかるた、更には昔からの各種のことわざなどが削られてしまいました

た。

これらは、非現実的・非近代的であるとか鬼など蔑視思想があるとか、戦闘場面があるとかの理由によつて排除されたものですが、今のテレビで殺人場面がでてくることに比べれば、これらはいずれも幻想的・情感的なものであり、こうした民話やおとぎ話、昔かるた・故事・ことわざは、わが国の伝承文化として、日本人の心や情操を養うのに必要なものと考えられます。

今こそ、占領体制下の偏つた認識を払拭して、これらを家庭教育・幼児教育・児童生徒教育・生涯学習の教材として採用奨励していただくようお願い申し上げます。

二、心に残る小学唱歌・童謡を教材へ

現代の生活は、物質文明の洪水に押し流されざみです。大人も子どもも、やすらぎと温もり、思いやりなどの心を見失いかけております。このことが、衝動的・残虐的ないじめや登校拒否・暴力行為の原因の一つであるとも考えられます。

いま、多くの人間は心のやすらぎを求めております。その寄りどころとなっているものに「心に残る詩」があります。小学唱歌や童謡には、自然の歌とメロディがあり、口ずさむ人、聞く人の心をなごませてくれます。「子ども心に残る日本の詩」は、情操教育に計り知れない価値があり

ます。しかるに、敗戦後の価値観によつて、これらの中には排除されたり軽視されるなど、あまり唱われなくなつてきています。例えば、

イ、自然の詩　つき・秋・四季・雨・荒城の月

ロ、生活の詩　われは海の子・茶つみ・かかし

ハ、動植物の詩　赤とんぼ・蝶々・鳩・螢・チューリップ

ニ、行事の詩　一月一日・村祭り・鯉のぼり・仰げば尊

シ・螢の光

ホ、おとぎの詩　浦島太郎・金太郎・大黒さま・花咲じ

じい

ヘ、歴史の詩　鎌倉・水師營の会見・那須与一

これらも、言葉が分かりにくい。差別感。戦争の状況などの理由で排除されたり、あまり教えられていません。しかし、名詩であり名曲であり、それぞれの時代的情緒を表わしております。極端な曲解、歪曲による価値観を払拭して、これらの詩を家庭教育・幼児教育・児童生徒教育・生涯学習の教材として、親子、国民こぞつて唱えるよう復活推奨をお願いいたします。

三、神話・祭り・宗教的行事を教材へ

文明発祥の地のギリシヤに多くの神話があるように、歴史の古い国々では、いずれも神話・伝説をもち、また、それを教材として用いております。原始社会や古代国家にお

いてシャーマニズムは自然の成り行きであり、現代が高度の文明社会だからといって、これを非合理として否定することは却って、文化、伝統、情緒などの国民性を無視してしまいます。

わが国では、敗戦後、占領下、精神主義の鼓吹に使われたとして、神話・伝承が全て教材から排除されました。神話・伝承の誤った利用は許せないとしても、神話・伝承を正しく伝えることは、伝統・文化・情緒などの国民性を養い、後世に伝えるため必要なことです。

その点からも、日本の国生み神話・神武天皇や日本武尊の建国神話・皇位継承と三種の神器の伝承などは教材に取り上げるべきであります。また、宗教的行事や祭りも上述のように、集落やむらが発生すると共に生まれたものであり、それは長い年月を経て宗教性を脱して地域行事、民族行事、風習として「伝承文化」となるものです。

戦後、政教分離ということを誤って解釈したため、地鎮祭・山開き・海開きの行事や暮れの大祓い・初参り・七五三などが教えられていません。外国では、そのような風習を宗教の布教とは関係なく伝承文化として教えておりません。わが国もこの辺で戦後の行き過ぎを改め教材に取り入れ、これらの生活慣習・風習の意味を理解させなければ、社会生活の経験に基き……人間生活、社会生活に必要な能

力を養うという教育の目標達成は出来ないでしょう。

四、国土の美しさを教材へ

国土の自然は、住む人の心情を形成し、その国民性を培う土台となっております。我が国は、春夏秋冬の四季の変化に富み、風光明媚な自然に恵まれ、それが情緒豊かな国民性とこれに伴う文化を育ててまいりました。

ところが、戦後の教材には、日本三景や国立公園、例えば瀬戸内海・雲仙天草・霧島・中部山岳などについての記述も形式的・表面的に名称を挙げている程度に過ぎません。これでは、国土や自然の見方、考え方の見本を養うことに欠け、自然愛護の心の育成に欠けます。こうした日本の国土の文化的価値を児童生徒の理解度に即して、描写・名文化して教材に取り入れるよう。また、一度教材に取り上げるだけでなく、小・中学校段階で社会科、国語科、図工科等の教材に重層的に教材化し、児童生徒の国土に対する愛着を深める基礎を培うことが重視されなければなりません。

五、伝統・文化・文化遺産・業績を教材へ

わが国は、歴史が古いだけに、その国土の自然・情感・歴史を土台に世界に誇る多くの文化・文化遺産を有しております。

しかるに、戦後の教育では国や歴史をタブーとした影響

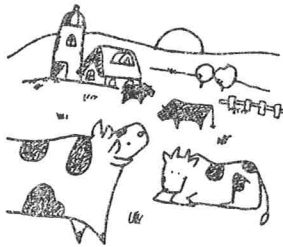
を未だに受けて、そのような文化・文化遺産・業績を教えることが少なくなっております。その結果、国家や歴史を正しく理解せず、国民的自覚と誇りをもたない人間が多くなつてきております。日本の代表的文化遺産や業績には、例えば、水墨画（雪舟）浮世絵（北斎・広重）俳句（一茶・蕪村・芭蕉）和算（関孝和）仁徳天皇陵、東大寺（大仏）伊勢神宮・法隆寺・出雲大社あるいは近藤重蔵・間宮林蔵らの業績とか箱根用水や十和田湖養魚の業績があります。

これらの文化遺産は、今日の日本の基礎となり国民性に貢献し、諸外国からも高く評価されているものです。しかし、それらの取り上げ方は、例えば、仁徳天皇陵は、その規模や工事の困難さ等を強調し、天皇の業績・貢献等には殆ど触れないため、単なるもの知りの教材に終つております。

いま、国際社会といわれていますが自国の文化や人々の業績を理解しないで、他国を理解することはできません。今日では「人間国宝」といわれる称号もあります。文化遺産の価値と同じく、日本の歴史上の主な人々の業績を重視して、日本の国の理解をより深め、国民としての誇りを高めるよう教材の取り上げ方を進めていくようお願いいたします。

このような「要請文」を総理・文部大臣はじめ、教育関係議員・省庁等へ連続提出した、「時代を刷新する会」は、岸信介元首相が創設、現会長木村睦男元参院議長・清原淳平事務局長・木内計二教育部会長・岡山富男部会員その他会員千余名で、『人間は、常に日進月歩を求めており、この精神を正しく伸ばすことこそ、国・地域・家庭・国民に新しい活力を生み、繁栄をもたらす原動力である。』との目標に精進しているものです。

（教育正論第三十四号より転載）



日共に噛みつかれマスコミの 虚構報道に屈伏した潜水艦

重野 義夫

(岡山県支部副会長)

(なだしお)

神奈川県横須賀沖で昨年七月二十三日、潜水艦「なだしお」(二、二〇〇屯)と大型漁船「第一富士丸」(百五〇屯)が正面衝突、三十人が死亡・十八人が負傷した事故の第十四回海難審判廷が平成元年三月十四日午前九時三十分、横浜地方海難審判庁(審判長久保田末広庁長)で開かれた結果、山下啓介前艦長(四十才)の回避行動の遅れが第一原因とし、さらに「第一富士丸」にも後進をかけたかったなどが指摘されたのであるが、此の度の主要原因は「なだしお」にありと山下前艦長に「勧告」を極めつけたのである。筆者は、元海軍水雷学校の出身であるが、長期戦に備える為に海軍兵学校(特修科学生航海術)をみっちり習得したので専門的立場で事件の真相を究明すればするほど、この海難審判の十四回にわたる審理が、日共とマスコミの嵐の如き自衛隊バッシング(自衛隊叩き)の影響を

正面から受けた危惧を感じざるを得ないのである。

「なだしお」審判理事陳述要旨は全く出鱈目であり、事

実無根(根も葉もない)(事実と違うぞ)、犠牲となった三十名の方々に対しては御冥福を祈るのみであるが、航空自衛隊の零石事故の時も事故原因が全くわからない時点からマスコミと日共は自衛隊叩きをやったのである。以下順次潜水艦「なだしお」事故の歪められた真実を事故のデータを元に検証してみよう。

一、昔の海上法規「海上衝突予防」(現在の法規)から私なりに検索すると、私が昔海軍出身将校だから自衛隊を支持するのではないかと疑いの目でみられる人もいるだろうが、真実は真実として究明をしなくてはならない。理論・理屈はいくらでもあるが、真実は一つしかないのである。

「なだしお」海難事件の真の原因は何か。事故は何故起きたのか、直接最大の主原因は、遊漁船近藤船長の未熟さと不馴れ(着任後約一カ月)による重大な操船ミス・判断ミス・海上交通ルール違反であり、この事件は一方的に百%その責任は第一富士丸船長にある。事故発生当時「なだ

しお」は「後進全速」により停止状態であったのに対し「第一富士丸」は七ノットの速度で潜水艦の左前方約十五度から艦首部分に衝突しており、そもそも真昼間軍艦と衝突する様な事故が発生するのは日本だけの珍現象ではなからうか。昔から軍用艦船に対しては、国際法上一般船舶は先を譲り、旗をあげ敬意を表するのが世界の常識・慣習になっており、自衛艦に対し旗をマストに上げて敬意を表するのは外国船舶のみで、日本の船舶は知らぬ顔で当時生き残りの女の子が潜水艦を見せてやると言って第一富士丸の船長自ら「なだしお」に近寄った記事は一字もなく、事故発生後に「なだしお」側がとった措置並びに海上自衛隊関係者の対処の仕方に非難が集中したが、これは「第一富士丸」乗務員達の偽の供述とマスコミ「朝日・毎日」等の共産党御用記者達が、高嶋証言をバックに「なだしお」事件によって捏造され、日共に包囲された「なだしお」マスコミの煽動により事故の歪められた真実を検証しなくては、凡ての善が悪になり日共に噛みつかれると白が黒になり得るのである。

一、この諸悪の原因は何か。それは国家組織の大本である憲法であるが、今の自民党にはそれを望むことは不可能である。政治が国防問題・国を守る重大なる任に当る自衛隊を馬鹿にし、軽視し、正常な軍隊であるにもかかわらず自衛

隊と言う正常な軍隊としての法的立場も与えていない日本は、米国の植民地であり米国の五十州中の日本州であることは、間違いない事実である。政府並びに国民の凡てがリクルート・消費税に上を下への狂奔ぶりには空いた口が塞がらないのである。現在の自衛隊の志願者は年々激減、定員数を二万名も割り防衛大学の学力も今から十四年前は全国で十一位（筑波大のみ）であったが現在では、全国で五十二位（三流・四流大学のみ）に転落しているのである。斯様な自衛隊員減少の基因はどこにあるか。筆者（海軍々人）より見ると先ず第一に憲法によって、自衛隊の任務は軍隊でないから自衛官には名誉も金も力もなく事故でも起れば、この度（なだしお）の如く袋叩きにされ、戦争になって専守防衛である為に敵が発砲もしくは攻撃して始めてこれに応ずる。世界（百六十八ヶ国）の内、こんなだらしない自衛隊は人間的側面からも既に困難な問題を内包しており、之等の凡ては自衛隊を軽んじ、防衛問題（一番必要）には政府も（三〇四議席も取りながら）全く消極的で自民党は、大臣供給団体であり相互扶助団体になり下り、野党は、自民党の傘に隠れて自己閉鎖集団となり、高給を取りながら何んでも反対し、皮肉にも革新政党の反対することを強引に実行することによって世界一の経済大国になったけれど、日本国民の独立精神を傷つけ、法律制

度の確立を忘れ、道徳も徳操も失い、教育は日教組により退廃し、国民全体がウドの大本になり下って終ったのである。これらの凡ては偽憲法にあるのは勿論であるが、自衛隊は人間の側面からも困難な問題を内包しており、これは自衛隊を軽視し、馬鹿にし、防衛問題に消極的な政府・与野党の政治家は勿論我々国民にも重大なる責任があることを認めなくてはならないのである。

第二次大戦で同じ敗戦国であるドイツは、米軍との綿密なる共同演習の面で、民間防衛・有事立法の作成・米軍の有事来援等々共同演習の面で我が国自衛隊と較べて整備・強化されていることは全く雲泥の相違のあることを真剣に考えなくてはならない。我が国の独立と安全を守る為にもどうしても必要かくべからざることは「自衛隊法の改正・有事立法の作成・スパイ防止法の制度」実現に向けて頑張つて頂きたいのは勿論であるが、何んでもないリクルート・消費税等々のことで、上を下えの大騒ぎする政治家の先生方にお願ひしたいことは、政治家の先生方は国民によって選ばれたのであるから、国民のつまらぬ要求には応ぜず、何が国是であるか、何が国民を幸せにするかに対して国民を説得し、指導力を発揮すべきではないでしょうか。

一、私は、このたびの事件に対し、(1)、海上衝突予防法(2)、船舶法(3)、練習艦隊(4)、船舶安全法(5)、海上保安法

(6)、海難審判法(7)、軍艦(軍の法規)最後に(8)、日本国憲法等専門的立場で検証致しましたが、この「海難審判」で審理が行なわれ十四回にわたる審理の結果が自衛隊「なだしお」の責任として審判されてしまったのである。私が取材をしつつ感じたことは高嶋証言でデッチあげられた嘘や第一富士丸の船長の嘘八百の証言さらに潜水艦が救助しなかつた為に行方不明者が沢山出たとの誤報は全く嘘である。潜水艦は三人救助しているが、十六時以後は救助すべき人は海上に一人もおらず、残りの乗員・乗客は一瞬の内に富士丸と運命をともにしたのであって、三十人の犠牲者のうちサロン・客室は二十人甲板上の八人の遺体は凡て船内にあり、船を離れて死んだのは湯原真実さんと病院で死亡した信部保隆さんのみであった。その事実を隠すことは全くナンセンスである。短時間のうちに、「第一富士丸」が沈没したのは、船長の操作ミスは勿論サロンや客室から余りにも突発的な事故の為に船内から脱出する時間がなかつたのである。昔から海軍では斯様な事故の際は、まず後進し、行き足を止め再び前進・後進・停止を反復しながら人命救助が第一であり、このたびの事故でも三人を救助しているのである。現状の状況を最もよく知悉しているのは艦長であり「なだしお」の救助活動は全く海上衝突法その他の法規に照らしても微塵のミスも操作の間違ひのないことは

事実であるにもかかわらず、何も知らない国会議員や防衛庁の高官共が感情的に「飛び込むべきだ」「飛び込んでほしかった」等々は常識論（無茶苦茶）であり認識不足の最たるものである。「なだしお」の救助活動に対する国民の非難に拍車をかけることになり、マスコミの中の日共黨員により自衛隊叩きに勢いを得、捏造された高鳴証言により日共に噛みつかれると「なだしお」の艦長のように白が黒となり「航空自衛隊零石事故」の時もそうであったがマスコミに張りめぐらされた赤い網にかかると二十五万（定員）の自衛隊も燐れなものである。

一、国の安全なくして「人道」なし政府・防衛庁・自衛隊の諸君に提言したい。国家には何処の如何なる小さな国にも防衛・司法・警察の権力構造がある。防衛と言う実力行使は国際法によって規正され、伝統的な国際法は力の原則によって支配されているのである。然し日本の自衛隊は何もしてはいけない。向こうが発砲したら上官の命によって発砲してもよいことになる。過去四十年間、韓国・台湾・北朝鮮・ベトナム・中国等々領海侵犯は何回もあつたが、日本の自衛隊が出動したことは一回もなかつたのである。外国の軍艦に対して警察も海上保安庁も何等かの強制措置もとることが出来得ないのは、警察と防衛の本質的な違いからむしろ当然の事である。

政治が国防問題其の任に当たる自衛隊を軽視し馬鹿にし政府が正常な軍隊として法律的に昔の様な軍人としての榮譽も見識も与えていない現状は独立国家として誠に異常であり不自然であり「米国の植民地」「国家でない日本」或いは「魂の抜けがら日本」等と他国からいわれる所以でもある。この度の事件のように、公務遂行にレジャー用の欠陥漁船から操舵ミスにより衝突された上、言われのない非難・中傷を受け艦長・司令官以下自衛艦が海上保安庁の取り調べを受ける等々主客転倒も甚だしく到底日本国以外の国の常識では考えられない事態である。自衛隊の問題を討議するときは、政治家も防衛官僚の面々も口を開けば「シビリアンコントロール」により自衛隊は暴走することは決してないと口を揃えて強調しているが、真実に恐しいのはシビリアンのこのヒステリーである。世界（百六十八ヶ国）の内、軍隊のないのは日本のみであり、つまり自衛隊と言う力の存在が必要な限り自衛隊は強くなければ意味はないのである。自衛官が、シビリアンの顔色を伺いながら軍務に服することは誠に嘆かわしきことである。真に国を守り得る自衛隊を育てるには、何時までもママ子扱いの自衛隊でなく、憲法を改正し、一日も早く自衛隊でなく軍隊の地位を与えることを国民は真剣に考え、真の武人として目覚める日を作らなければ、経済大国日本は一瞬にして

潰滅して終うのである。関係各位の猛勉強と勇氣ある猛省と奮起を希求して擱筆す。

岡山市鹿田町二丁目二一七

本部だより

味岡義一

(連盟理事長)

一、故半井頭雄未亡人のご来訪

元本部常務理事、半井頭雄様は、七月二十二日ご逝去され、誠に哀悼のきわみでありました。九月十三日染子未亡人が本部を訪問され、生前、郷友連盟に多大のお世話を賜わり、御礼として金、五万円也を郷友基金に寄付されました。ここに皆様と共に厚く御礼申し上げますとともに、半井頭雄様の御冥福を心からお祈りする次第がございます。

一、常務理事会

九月の常務理事会が次のように行われました。

○九月六日

主として、幹部、青少年部夏季研修会の実施成果の報告、郷友トップセミナーの構想(十一月十一日)、全国婦人部研修計画(十一月十五、十六日)の審議が行われました。

一、ブロック会議

次の各地域のブロック会議が行われ、本部から会長、理事長及び各担当理事が参加しました。

○九月四日～五日

北海道、東北地区ブロック会議

香取理事が参加しました。

○九月十三日～十四日

関東甲信越ブロック会議

岡田副会長、佐藤理事が参加しました。

○九月十六日～十七日

中部地区ブロック会議

堀江会長、味岡理事長が参加しました。

○九月十九日～二十日

中国地区ブロック会議

梅野理事が参加しました。



ソ連全土に燃え広がる民族闘争の業火

齋藤

忠ちゆう

（国際政治・軍事評論家
日本を守る会代表委員
連盟顧問）

ソ連改革派の旗手エリツインの訪米

ソ連共産党書記長であり、最高会議幹部会議長であるミハイル・ゴルバチョフにとつて、最大の政敵と言え、誰しもうなづくであろう。人民代議員ボリス・エリツイン。彼は、前モスクワ市共産党第一書記。急進改革派の旗手として知られた人物だ。

その問題の人物が、突然、アメリカ合衆国を訪れたのは、去る九月八日。彼は、首都ワシントンの日刊紙「ワシントン・ポスト」の記者の問いに答えて、訪米を思い立った理由を明白に説明している。

「わがソヴィエト社会主義共和国連邦は、現在、殆どあらゆる局面において、まことに容易ならぬ危機に直面しております。——」その曾て知らぬ破局の事態の真実を、合衆国民のすべてに知って貰いたかったのだと言うのである。

たまたま、その時期は、彼のソ連において共産党中央委員会総会があわただしく召集される直前であった。

九月十九日——彼の訪米の十一日後に開会されたその中央委総会が激しく討議した大問題は、ナゴルノカラバフ自治州の帰属に関するそれであった。この紛争の故に、アルメニア及びアゼルバイジャンの間の民族闘争は激発されたのである。

「ペレストロイカ」はソ連を変え得なかった

現在、ソヴィエト連邦が当面しつつある最大の苦難の問題こそは、言うまでもなく、その国内の諸民族のあいだに日毎に拡大しつつある対立と民族反乱の事態であらねばならない。

エリツインその人も、アメリカ合衆国での放送で強調したように、ゴルバチョフ書記長提唱の「ペレストロイカ」

(再建) 政策が実施に移されてから、既に四年の歳月は過ぎ去っているのだが、ソ連人民大衆の生活水準には、いささかの改善の様子も見えないのである。

ゴルバチョフ書記長その人のソ連国民のあいだにおける声望が急速に衰われつつあることも、もとより、当然の帰結であらねばならない。「かくて、わがソヴェイト社会主義共和国連邦は、殆ど総ての局面において、誠に容易ならぬ危機の事態に直面するに到ったのであります」と、エリツインは言う。

「われわれの改革が著しく遅れつつあることは、明白な事実であります。経済が危機に在り、財政が危機に在り、党が危機に在り、民族が危機に在る。四年前にペレストロイカの新政策が開始されて以来、今に到るも、なお、民衆の生活水準には、いささかの進歩も向上も見られませぬ」と痛歎しているのだ。

九月十九日の党中央委

員会総会

その九月十九日の党中央委員会総会は、本来、八月中旬に公表されたソ連共産党基本綱領に則って、いま俄かに問題となりつつある民族闘争および連邦制再編に就いての新しい政策を決定するために召集されたものであったのであ

る。だが、今は、それどころではない。

眼前に迫る緊急の問題は、すでに野火のようにソ連全土に燃え広がりがりつつある民族自立の動きの制圧であらねばならない。

ゴルバチョフ書記長自身も、総会開会の劈頭、なによりもまず、極めて卒直に、国が迎えつつある重大な危機の事態を確認しているのだ。

「わが党は、いま、国内諸民族のあいだの深刻な闘争を始めてとして、山積する危急の問題をかかえております」というその発言は、いまソヴェイト連邦が迎えつつある危機の実態が、遠くに在って想像するよりも遥かに重大なものである事実を示唆するものであらねばならないのだ。

だが、党書記長兼最高会議議長の立場としては、それら民族派、或は改革派の激しい主張をそのままに容認するわけにはゆかないのだ。いわんや、彼等の言うところに無条件に屈服することなどが出来るわけは無いのである。

ナゴルノカラバフ自治

州の紛乱

だが、問題は「これらの国内抗争をそのままに放置して差支え無いか？」だ。

差し当たったの問題は、ナゴルノカラバフ自治州の帰属

であらねばならない。この紛争の故に、アルメニア及びアゼルバイジャンの民族間衝突は激発されたのだが、今また、その係争は再び激化しつつある。

そのアゼルバイジャン共和国のナゴルノカラバフ自治州では、既に久しく、アゼルバイジャン人による組織的な交通網封鎖が続いているのだ。

その結果として、食料、ガソリンなどを始めとして、すべての生活必要物資が、見る見るうちに姿を消してゆくのである。まさしく、此の世の地獄とも言うべきであろう。

これは、共産主義政権下の人民大衆としても、到底堪え得る限りではない。このようにして、民衆の抵抗は、見る見るうちにソヴィエト社会主義共和国連邦の到るところに拡がってゆく。

去る九月十六日には、ソ連全土三十一都市の人民戦線組織五十一団体の代表たちが、レニングラード市に集合して、全国会議を開催しているのだ。そもそも、共産主義政党の一元独裁に反対して民主化を希求する人民戦線組織の全国大会は、ソヴィエト連邦七十年の歴史において曾て例を見ないことなのである。

今後も彼等は、全国組織化を求めて運動を継続すると言

事態を深く憂慮する

アメリカ合衆国

いづれにもせよ、ソ連中央政権の統制能力の著しい低下は、今後、さらに一層重大な事態を惹き起そうとして居る。その憂慮は、ソ連の隣人ならずとも、また、ソ連人民ならずとも、誰しもひそかに心に抱く憂慮であらねばならない。

とりわけ、心ひそかに、それを警戒しつつある者は、アメリカ合衆国であろうか？

この国は、今日まで、ヨーロッパ及びアジア、二つの大陸の主要部を掩う広大なソ連圏を、与国と共に包囲し封圧する政策を採り続けてきた。

第二次世界大戦直前の第七回コミンテルン大会における人民戦線戦略。これを基底とする自由主義世界分断、さらに対立激化の策謀。ヤルタ密約を徹底的に利用してのアジア、太平洋世界掌握の悪魔的な動き。それらを終始凝視して来た者ならば、その包囲政策は、あまりにも当然であらねばならない。

ブッシュ大統領の対応

姿勢

ブッシュ米合衆国大統領は、すでに、この事態に就いて、新しい対応姿勢を宣言しておる。本年五月のことである。

「ソヴィエト連邦に就いて言う限り、封じ込め政策だけでは、もはや、その危険な動きを阻止することは不可能であらねばならない」と言うのである。「もしこのままで進むならば、結局は、第二次世界大戦後のヨーロッパの世界秩序の崩壊をも招き兼ねないであろう」と言うのである。

現実の対策として、その向うところは、結局、ゴルバチョフ書記長の「ペレストロイカ」(建て直し)路線を支持し、これに協力することだ。

もとより、このゴルバチョフ政策に対する警戒を忘却したわけではない。ただ、基本的には、そのゴルバチョフの主張するペレストロイカを、また、グラスノスチ(開放)を支持して行こうというのである。

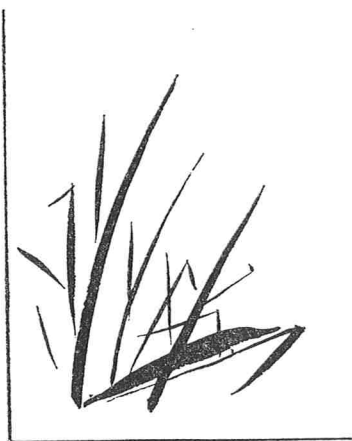
イギリス首相サッチャー

ーの所見

九月、日本を訪れたイギリス首相サッチャー女史も、また、ペレストロイカ支持の意志を表明している。「ソ連書記長は、予期以上に努力しておられます」と評価して居るのである。

だが、その努力にもかかわらず、改革が思うように進まぬ理由としてイギリス首相が指摘しておることは、ゴルバチョフが飽くまでもマルクス主義を基本としてこれを推進しようとして居る事実である。「マルクス主義を離れ得ぬ限り、その努力には限界が在ります」と言う。

更に、「ソ連政治家の中には、おな数多くの破壊的分子が存在することも、改革難航の理由であらねばなりません」とも付言しておる。——「そのゴルバチョフ書記長が抱えている苦難の問題に比べますならば、海部首相や私などが抱えて問題は、小さい、小さい」と述懐しているのである。



軍事常識

地対艦誘導弾(SSM)

五十嵐 晃

(連盟理事)

平成2年度防衛予算の概算要求では、88式地対艦誘導弾(SSM-1) 32基の調達盛り込まれた。陸上自衛隊におけるSSMの装備化は、昭和63年度に始まり、目下のところ54基・3個隊を目標に進められている。(中期防衛力整備計画)

このSSMは、空対艦誘導弾(ASM)からスタートしたわが国独自の開発による国産ミサイルで、概略の性能・諸元としては次のようになっている。

全長約5m、直径約35cm、重量約660kg、射程百数十km、誘導方式は慣性誘導+レーダーホーミング、ターボジェットエンジンを搭載し亜音速で飛行する巡航ミサイル。

内陸部から発射され、陸上では地形に応じてあらかじめ設定された高度と経路を通り、海上では相手艦船のレーダーの目をくぐり抜けるため、海面すれすれに飛ぶ。そして目

標艦船に近づくと内蔵するレーダーでこれを探知し命中する。全体のシステムとしては、捜査標定レーダー・射撃統制装置・発射機等から成っている。

残念ながら、わが国内では適当な射場が得られないため、総合的な評価テストは一昨年夏米国で実施され、良好な成果を収めた。

以上のように、SSMは侵攻する敵の艦船の撃破を可能とするものであり、地上から発射されるという特徴を有している。支援戦闘機から発射されるASMなどの誘導爆装や新たに導入を予定されているSSM-1改良型搭載のミサイル艇などと相俟って、洋上阻止能力に多様性を与え、洋上から内陸部にわたり、より奥行き深い防衛態勢の向上が図られるものと期待されている。

着上陸侵攻に対処する作戦においては、敵が橋頭堡を設定する以前に、できれば水際で遠に撃破することが望ましいことは明らかである。まして国土の防衛ということになれば、一步も地歩を与えないのが最良である。しかし、これまでの戦史は、それがきわめて困難であることを示している。太平洋戦争における日本軍の島しよ、防衛においては、航空優勢の傘を広げながら圧倒的な戦力をもって進攻する米軍水陸両用作戦のぼう大なエネルギーに対し、それは不可能であったとみてよい。

ソ連は第2次大戦において、主要なものだけでも20数回

の上陸作戦を行なっているが、米軍が太平洋方面において実施したような大規模な強襲上陸の例はなく、小型艦艇や小型船の利用による海岸―海岸方式、港湾の早期確保、奇襲上陸の重視等を特色とするものであった。しかし、このところ航洋型上陸用艦艇を保有し、強力な浮揚力を有する高速水上艦艇（ACV等）の開発及びラッシュ船やローロー船による輸送船隊の整備（これら民需用の輸送船は極東方面でも多数運航されており、ローロー船は港湾さえ確保すれば重装備の急速な揚陸が可能であり、ラッシュ船は港湾施設の不十分などころでも使用可能）、さらには両用戦支援にも使用しうる軽空母やミサイル巡洋艦、駆逐艦等の増強がみられている。また、経空侵攻能力という面では、大型ヘリコプターや輸送機の性能向上と量的増強が顕著である。ソ連軍はアフガン侵攻当初、各種輸送機及びヘリコプター計2百機により、48時間で25万人の兵力を作戦地域に投入したといわれている。すでに150t搭載の超大型輸送機An-124（米のC-5クラス）が装備化され、250t搭載のAn-225も本年のパリ・エア・ショーで西側に公開された。大型輸送用のヘリコプター（70〜80人搭載）も多数保有しているとみられている。加えて、着上陸作戦時の支援能力や支援要領の面からみると、航空・ミサイル兵器の脅威が

著しく増大している。

一方、北日本の防衛という観点からみると、この地域は縦長な日本列島の北端部に位置し、三正面をソ連の勢力圏下にある日本海・樺太・オホーツク海によって包囲されるように突出した形になっている。しかも、ジェット機であれば分単位という時間距離で間合いの詰った状況にある。ということは、相手側は外線に立って、数多くの基地を有する優勢な航空戦力の支援下に急襲あるいは強襲しようということになる。

このような諸条件をあれこれ勘案すると、戦略守勢に立つ側は、やはり縦深にわたって何段かの構えで、相手のエネルギーを減殺・吸収・阻止し、反撃することが肝要で、そのような態勢と能力を保持してこそ抑止の効果を發揮しうるものと考えられる。

SSMのようなハイテク兵器の装備化によって、より前方、より早期から撃破の可能性を保有したことは、そのような意味合いにおいて大きい意義があるものと解される。

(了)



戦いの九原則（その5）

武岡 淳彦

（兵法経営塾長
連盟顧問）

前回の終りに述べた目的と目標の関係をビジネスで述べれば、近江商人がモットーとしている「相手のお役にたつ」が目的で、目標は徳用、つまり「利益をその年にどれだけあげるか」ということになる。これをクラウドゼウィッツの目的と目標の関係五項目にあてはめると次のとおりである。

(1)、企業は「顧客の役にたつ」という経営理念を見失ってはならない

(2)、「顧客の役にたつ」という目的と「会社を維持・発展・永続させていくに必要な「利益をあげることを混同してはならない。」

(3)、目標の「利益をあげる」ことは、目的の「社会のお役にたつ」ための手段であり、あくまでも奉仕のための具体的な行為であることを忘れてはならない

(4)、だが、「利益をあげることを無視して、社会に役立つとうとすれば、企業は立ちゆかず、足もとをすくわれ倒

産する。

(5)、反対に、「儲ける」ことばかり追求して社会の役にたつことを考えなければ、結局社会からそっぽを向かれ、これまた立ちゆかなくなる。

以上のようにみれば、何とこの五項目は商人道を適確に、しかも具体的に説示したもので、経営の真髄を述べたものといえる。

企業の社是・社訓あるいは江戸時代から永く続いてきた商家の家憲や掟には、顧客や、世間のお役に立つことをうたったものが多い。儲けることは商人であるかぎり誰しも瞬時も忘れないが、実はその源泉がお客の役にたつことであるのをつい忘れがちだ。このため商行為は社会奉仕の精神で行なうよう家憲でうたい、また最近では社是、社訓で強調するのである。

話は横道に逸れるが、兵法もこの理念に立脚して実践することが必要である。元来兵法とは「強いのか、弱いのか、

「勝つか負けるか」を対象とする分野の学（理論）と術（実行）である。したがって「相手の役にたつ」というような道義面、あるいは道徳性といったものや考え方とは無縁のものである。少なくともこれまででは、そのように考えられてきた。しかしこの理念には根本的な欠落がある。なんとすれば兵法はそれ自体独自に存在するものでなく、社会科学の一分野として存在している。兵法の特徴は戦略性と総合性だが、総合性といわれるのは見積や判断、計画の総合だけでなく、兵法の内容そのものが多くの科学の総合のうえに成りたっているからだ。それは同時に兵法も他の科学同様、上からのコントロールをうける、つまり世の中を律している大原理のコントロール下におかれているということだ。その大原理とは、さきにもべた道義性、道徳性である。たとえばナポレオン、筆者はその研究のため五回も彼の足跡を現地探訪したが、かの天才的兵法家のナポレオンですら、彼がフランスのために、フランス国民のためにと、公（おおやけ）に奉仕する気持、すなわち道義心を主軸に兵法を駆使して戦っているときは、万事うまくいったが、皇帝となって全欧州を自己の野心のために征服しようとして道義心を失ない始めたときに早くも躓きはじめ、やがてモスクワ遠征の失敗となって斜陽は決定的となり、最後はセントヘレナに虜囚の身となって病没したのである。こ

のように世の中のことは、道徳の枠から逸脱したものはいかなる方面の天才といえども最後を全うすることはできないのである。

そこで問題はお役にたつという考え方と利益をあげるために、ライバルと戦うことの相関関係である。お役にたつという道義的理念と競争者にうち勝つための策謀や悪の理念とは、どう考えればよいかということである。この点については格好の事例がある。それは最近亡くなった松下幸之助氏の経営である。氏の商業精神について元松下電器貿易㈱の代表取締役であつた齋藤周行氏は、その著『拝啓松下幸之助殿』のなかで、「破れさつた商業道徳」と題し、「氏の松下電器貿易を旧に復すというその方法は、まことに陰険そのもので、私にはどうしても納得しがたいものであつた」と氏のとつた具体例をあげて、松下氏を批難しているが、お客の役にたつという理念は、一方でライバルとの戦いでもある。戦いともなれば策の限り、知恵の限りを尽して相手を窮地に陥れ、あげくの果ては倒すことも必要で、兵法はそのために存在するものだ。したがってその策謀を背徳的ときめつけ、その人物を商業道徳に背を向ける（悪徳商人と批難するのはあたらぬ。あの忠臣蔵の大内良雄が、主君の仇を討つため行つた数多の策謀を、誰もが批難しないのは策謀や欺騙も必要と認めるからだ。このよう

に両者は両立するのである。

企業家が奉仕と云って利益をあげることを忘れ、相手を傷付けるのは悪いと云って競争しなければ企業は倒産する。それはボランティアのすることだ。企業マンはボランティアではない。世の中は万事バランスを保ち、一方に片寄らないことが必要だ。そういう仕組みの中で、基本、大本である、道徳やモラルを忘れず行動して欲しいということである。このように目的、目標の関係は企業の本質に触れるものだ。

ところで目的には、このような大本的、大局的観点からものと、小局的なものがある。兵法用語でいえば戦略的な目的と戦術的目的といったところだ。

戦術的目的とは、たとえば某地域で自社商品の主導権を確立するというのがこれだ。このような場合、目標は現在のシェア二五%を来年度末までに四〇%まであげるといふようにとる。目標のシェアは、ランチエスターの後継者クープマンの考えた「三一の理論」つまり、一は三に絶対勝てないを活用するのがよい。目標地域を四分した場合、三対一、つまり四分の三をとれば一は逆転不能なので、独占状態になる。そこで四分の三、七割（厳密には七三・八八%）を絶対的な数値目標というのである。だが競争の激しい現在では、どの業界でも一社で七割のシェアをとるこ

とはまず不可能なので、相対的安定目標として四割を狙う。厳密には四一・七%である。四割とればまずは安泰ということだ。しかし一般的に「どんぐりの背くらべ状況」的業界の多いところから、四割もかなたの目標となる。ここでは競り合いからの抜け出しが必要だ。その目標を下限目標というが、それは四分の一よりすこし多い数値、二六・一二%だ。ところでさきの七三・八八と、この二六・一二の比を、逆にみれば二・八二八対一、概略的に三対一となり、三一の理論を形づくる数値となっているのである。

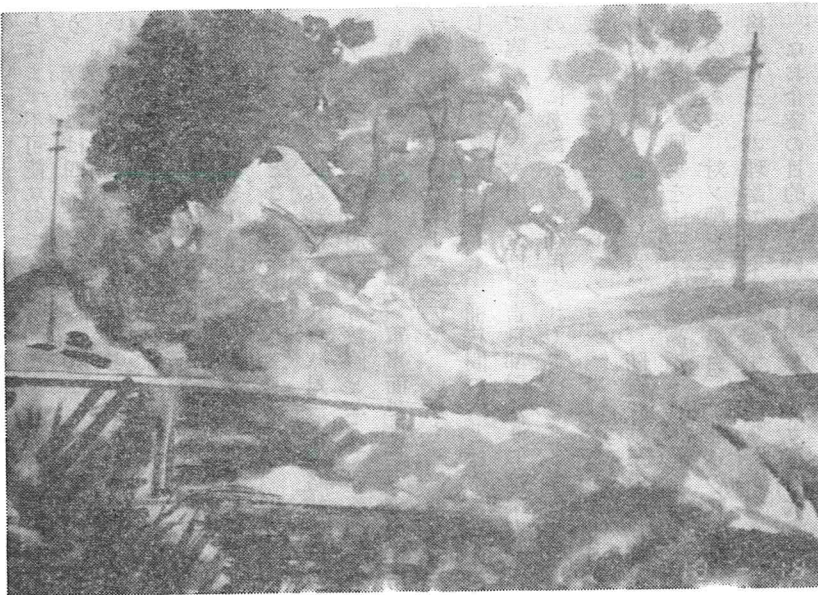
ところでこの三一理論は、軍事面では兵力決定に用い、マッカーサーはニューギニアで、いつも三倍の兵力を投入してきたし、織田信長も、桶狭間のあとは常に三倍の兵力で臨んだし、大内蔵之助も吉良邸討入りには三人一組で敵の一人にあたるなど利用されてきた。アメリカ軍の現行作戦マニュアル「オペレイション」では、この戦場力学をさらに増やし、攻撃では六対一、防御では三対一以下にならないよう、戦場を主宰する最高指揮官、將軍に要求しているのである。対ソ戦を考えた場合、ソ連軍の物量戦法的性格から三一の理論では不安を感じるからであろう。

なお企業の目的については、アメリカ第31代大統領が、戦前商工大臣までつとめた経営者・高崎達之助氏に、「モダン・マーチャント・スピリットとは、顧客へのサービス精

神である」つまり「これからの新しい商業精神とは、顧客へのサービスである」と教えてくれたと回想しているが、現在のアメリカ経済の停滞の一因のなかに、この精神の荒廃があるように思われてならない。

国鉄がJ Rに分割民営される前に、日本交通公社から社員が出講して、サービス精神について教育したが、受講者の中には「何故サービスしなければならぬか」と疑問を抱くものがあったという。市場原理が機能しないところではサービスが必要ないが、そうした社会には進歩がないことは、現在の社会主義国の経済的停滞をみてもわかる。サービス精神とは、これまでのべてきた「お客の役にたつ」という心掛けである。近江商人は「お客の役にたつ」ことを商いのモットーとしてきたが、そのため薄利多売を心掛け、利は余沢としてきた。つまりお役にたつよう懸命に努力しておれば、利益は自然に天が与えてくれるというのである。むしろそれは心構えのことで、現実にはそろばんをとって着実に利をはじき、積んでいったのであるが、心の中ではあくまでもサービス精神を忘れなかった。したがって出先の土地の藩の役人や地場商人たちからは「近江泥棒」とすら陰口をたたかれたが、お客の百姓たちからは有難たがられ、このため不況時にシエアを延ばしていったのである。不況時にシエアを延ばす企業体質をもつために

は、サービス精神が絶対欠かせない。つまりクラウゼウイツツのいう目的と目標の関係の具現が必要である。



(広瀬ふみ子先生水彩画の写真)
(日本水彩画展入選作家)

祖国日本に愛と誇りを持つ子を育てる(その4)

— 家庭教育の小考察 —

多田 三重子

(国際教育研究所研究員)

九月初旬のある夜、K夫人から電話がありました。

同居している孫の国語の勉強についての相談でしたが、それは単に個人的な問題ではなく、国語教科書全般、さらには、家庭教育での「子供の本の選び方、与え方」というテーマにも直結する内容でありました。

そこで、今回は子育て中のお母様方や、本誌ご愛読の皆様、この方面へのご関心をお寄せいただきたく、かつは問題の提起ともなることを願ってペンを取りました。

一、「ほんとに困る」国語教科書

K夫人の相談とは主に次のようなことでした。

商用で外出の母親に代わって時おり、二年生のY君の勉強を見ている。今日、国語の読みの練習に、テープレコーダーに音読を録音し、それを聞かせて自分の読みの良いところ、不自然なところに気付かせようと思った。

Y君が日本書籍二年上の「えんびつびな」を読み始めた

のですが「わたしが、子どもの、ころ、せんそうが、ありました。」

と、まるで字がよく読めないように、ただたどしく読むので驚いて教科書を見ると、一語一語一ますあけて書いてある。学校の先生は、その一ますのところでも軽く休んで読みなさいとおっしゃったとのこと。

K夫人は、これでは音読や朗読の力が付かないし、読書の楽しみも感じられないのではないかと心配します。

次に「えんびつびな」というこの童話に使われている言葉に疑問を持つ。例えば文中・シンペイちゃんは、ほんとうにべんきようができませんでした。との書き方などはせめて、おかれていましたとか表現を工夫してほしいし、おれ・おめえ・いいもん やるよ など教科書に出て来る言葉としてこれでもいいのかしらとのことです。

音読の重視・その練習にテープレコーダーの利用というK夫人の着眼は、まことに適切であり効果的な方法であり

ます。また、教科書教材の内容や用語への疑問も教育熱心なK夫人だからこそ思われます。

さて、一語ごとに一ますをあけて書く叙述の仕方は、一二年生の「わたし」が子ども「ころ」のように一字一字をいわゆる拾い読みをしないで「わたし」が「子どもの」のようにまとまった語として読ませるために、わかち書きと呼ばれる方法で書いてあるのです。

読みに慣れた時や音読をする場合には、分かち読みではなく読点・句点で区切って読ませるべきです。いつまでも、拾い読みや分かち読みでは、文や文章の意味やストーリーが理解できません。読めても、何を書いてあるのか、さっぱり分からないという結果になります。

Y君は特に利発な子で教科書外の絵本や童話の文章などすらすらと読めるのに、強いて分かち読みをさせることは国語嫌い読書嫌いにしてしまう恐れがあります。

国語の教材は、繰り返し読んでその語や文を暗記してしまふものです。言い換えるとそこに使われている言葉が、子供の心にしみこみ、子供の心を育てます。K夫人は教材の「シンペイちゃんは、ほんとうに、べんきょうが、できませんでした」の文に対して友達をこんな風に断定して書くのはどうかと疑問を持つのです。柔軟で思いやりのある童心、そしてその心情を助長すべき教科書の表現として適

切ではありません。この様な点にまで気付くK夫人に私は深く感動したわけです。

教室での国語指導で、音読や朗読がここ十年ほど前から軽視されています。古典や名文・語り伝えられた昔話の文章には快いリズムがあり、繰り返し読み思わず声に出して読みたくなるものです。教科書教材にはそのような文章を採用すべきですが「音読に耐えるようなよい文章が教材にはない」と、ある研究会の席上で経済同友会幹事の石井公一郎氏は言われました。音読軽視の原因とのご意見です。

音読どころか、一読さえもさせたくない教材が、国語教科書に堂々と採用されていることを、皆さま、ご存知でしょうか。子を持つ親としても、祖国に愛と誇りを持つ青少年の育成を願う立場からも絶対容認できないような文章が私達の大切な子供の教科書教材となっていることを――。

お手近に小・中学校の国語教科書がありましたら、是非お手にして特に文学教材をご一読ください。文部省の検定済みだからと、どうぞご安心なさいませんように。

二、教科書教材並びに子供の読み物への視点

家庭で教材の内容や用語の適否について判断する場合に、その基準とか判断材料はどうするかということが懸念されると思います。けれどもそれは特に難しく考えない

で、日本人として普通の常識を持ち、親として当然の子を思う心から教材をしつかり読めば感じ取り気が付くことだと思えます。あえて幾つかの視点をご参考に上げれば次の通りです。

① 正しい共通語の使用

方言の多用は子供の学習を混乱させるばかりでなく、国語を尊重する態度や共通語に対する敏感な言語感覚の発達を阻害します。語らいの拡大とか他の地方への親しみを増すとかの意見に私は賛成できません。また思いやりのない言葉や、きたない言葉の使用も子供の心に有害です。

二年生の「ろくべえまってるよ」の教材に母親に向かつて「ケチ」「ケチ」と子供達に言わせているのは、まったく言語道断でこの教材の作者や採用した教科書会社の良識が疑われます。

前出の教材「えんぴつびな」には「シンペイちゃんという いたずらっ子が いました。」とシンペイちゃんをいたずらっ子と決めてしまったり、「おれ、べんきょうだめなんだ。」と自分をだめだと思ひこませ、それを言わせている箇所があるのですが、これは用語の問題を越えた、人間教育の観点から批判すべき記述です。この作者の教育観を露呈した浅薄な悪文だと私は怒りさえ覚えます。

② 明るく、強く正しく生きようとする心を育てる内容

国語教材にも、反米観ソの思想・階級闘争史観に基く教材が各学年に織りこまれているのです。日教組が好んで平和教材と呼ぶ広島・長崎の原爆被害に取材する教材などは暗く、陰惨で怨念に満ちたものとなっています。誰しも、戦争を好んだりましてそれによる死を望む者はいません。

けれども、あえて身を国家のため民族のために捧げ、犠牲となる愛国の至情も必要な場合があるのです。

救いようのない暗さや怨念は、児童・生徒の教材として適してはいけません。希望や決意、そして親や社会への感謝・崇高なものに対する敬けんな心情を培う内容こそ教材として適切ですし児童心理も明るさのある内容を好みます。

③ 古典の尊重

わが国の神話は、祖国創成の姿を語り、伽話や説話・民話・伝説などは、わが民族の魂です。

ところが国語教科書には、神話が消えわが民族が語り継ぎ、言い継ぎ、磨き上げて伝え遺^すたいわゆる昔話がほとんど皆無と言つてよい状況になっています。

東京大学の小堀桂一郎教授の説かれる「評価の定まっている作者による、評価の定まった作品を教材とするべきである」と私も信じます。けれども今の教科書には、新入作家の書き下し作品などが重宝される傾向があります。その場合が左偏向の内容であったり、ひどい方言多用で、ある

地方以外の子供達にとっては難解で学習意欲を阻害するもの、あるいは説明過多の稚拙な文章さえ登場するのです。

④ 先覚者の伝記や先人の国家的快挙に感動させたい

昭和四十年代頃までは、小学校の国語教科書に、野口英世・二宮金次郎の伝記もあり、マナスル登頂や南極探険の快挙も載せられて、子供達は胸を躍らせて読みふけり、朗読しては感動を深めました。こうした伝記や物語は、前記の神話や昔話などと共に、子供達の国民的感情を高揚させ、自分の生き方を考えさせ励ましとなるものです。

今の教科書にこれ等の教材は姿を消し、数少ない伝記『田中正造』を見れば（教育出版・光村図書共に六年下）内容は公害物語とも言うべきもので時の政府や政治家・警察の無謀・無策・弾圧を強調しています。

外国のすぐれた物語もキューリー夫人の伝記も結構。それは子供達の目を広く国際社会に向けさせますし、生涯を苦難にも貧困にも屈せず努力し研究して人類に功献したその生き方を学習することも大切です。

しかし日本の義務教育での教科書です。日本人の伝記をもっと多く学習させ、日本人としての自覚・誇り・国家の発展に寄与する生き方への感謝や感動を読み味あわせたいものです。

さて、以上のような視点から教科書を見ていただいて、

特に小学生低学年のお子様をお持ちのお母様方が、好ましくない教材や言葉に出合われた時、どのように対応されましょうか。明からさまに批判してお子様を教科書不信に陥らせても困ります。次のような扱いも一つの例です。

もっとも不適教材として私が怒りをこめて指摘する教材に『いちぢどん ねずみどん』（日本書籍一年下）があります。詳述できず残念ですが概略は次の通りです。働き者のいちぢどんが丹精したあわの穂を一夜にして誰かに刈り取られ「だれが あわをかったか しらんかのう」と尋ねます。すると「ひとの ものなんか しらん」ととんびにも、からすにも、すずめにも答えさせているのです。怠け者のねずみの仕わざと知り、いちぢどんが復しゅうをしたという物語が十五頁も使って長々と展開しています。反道徳・非情・怠惰・自分さえよければの低級な情念をわが子に移植させぬため、お子様と話し合ったり「あなたが、とんび・からす・すずめだったらどうする？」と問うなどして批判的・主体的な読みに導きたいものです。

本稿のまとめにショウペンハウアーの言葉を記します。――悪書を読まないことは良書を読むための条件である――

郷友オピニオン

防衛を支える会

平成元年度総会盛況裡に終了

上妻 正康

(連盟相談役)

昭和六十三年六月十一日誕生した、政治連盟「防衛を支える会」の第二回定期総会は、六月十四日、東京九段のグランド・パレスで開催されました。

参議員議員選挙は、いよいよ一ヶ月後の最終段階となっております。本部理事をはじめ、全国から代表者が参集。来賓として、石井一自民党全国組織委員長、経団連代表者、田村秀昭参院候補後援会事務局長さらに堀江、永野両参議院議員ら多くの方が顔をそろえ、会場は定刻から満席という盛況ぶりでした。諸議案は、熱心な審議によってすべて満

場一致をもって議決されました。最後に次のとおり、総会決議が提案され、これも、全員の賛成を得ることができました。会としては、この決議をもって、直ちに政府に対する要望事項として取扱うこととし、現在逐次政府及び自民党関係議員に陳情しておるところであります。

政府への要望 決議

防衛政策を推進し、自衛官の社会的地位を向上させるため

一、デタントムードに惑わされることなく、時代遅れと不合理な「防衛計画の大綱」の見直しと、わが国防衛の基盤ともいふべき「有事法制」の整備を促進すること。

二、自衛官の本来の特性に基づき、その給与や年金の改善をはかるため、人事院や公共企業体等労働委員会のような公正な第三者機関を設立すること。

三、部隊の中堅として永年勤務をした二尉・一尉・三佐・二佐にたいして新しに叙勲枠を創設すること。

右を政府にたいして要望することを決議する。

平成元年六月十四日

防衛を支える会

第二回定期総会

田村秀昭候補は、七月参議院比例代表順位第十三位という立派な成績でご当選になりました。郷友連盟の皆様は温

かいご支援ご協力に対し謹んで厚くお礼申し上げます。八月二十五日の閣議で、勇退する海幕長東山収一郎の後任に佐世保地方総監の佐久間一海将を充てると報ぜられております。防大卒の参議院議員と海上幕僚長が誕生することは心強いことと存じます。

政局の不安は心にかかることもありますが、わたくし共は、心からこの国を愛し、平和と正しい自由を希求しながら、確実な足取りで進んで行きたいと念じております。郷友連盟特に郷友政治連盟のご指導、ご鞭達をお願いする次第であります。

海部首相と私、偶然に一致

上村 嵐
(連盟参与)

この夏私は所要あって渡米した。八月二日に成田を出発して二十二日の夕方帰国した。

サンフランシスコに前後十日滞在した。その間にあって私なりに感じたことを書いてシスコにある日系新聞の北米

毎日に投稿した。

その記事が八月十二日の新聞に大きく掲載された。それは次のとおりである。

サンフランシスコ北米毎日新聞掲載

(一九八九年八月十二日)

投書

日系人の方々をお願いしたい事

戦後四十四年が経過した今、日本で感じるのは、物凄い経済成長の反面、精神面では思わぬ低下をきたしたことがある。戦前、戦中の愛国心、それにあれ程強かった敬神崇祖の念がいささか低下している。まことに残念な傾向である。

ところで、私は夏休みを利用して二年振りにシスコにやってきた。私共夫婦は四日にシスコに到着、旧知の方々にまずごあいさつをした。シスコを訪れるのは、私も家内もアメリカ中の都会で一番好きなどころだからである。アメリカに行くからには、シスコを除外する訳にはいかないということだ。一昨年当地に来た時、丁度ジャパントウンで交番のオープニングセレモニーにぶつかった。今、この交番がどのように活用されているか、治安状態が良くなった

かどうかということを知りたいと思った。その日は警官二人で配備されていた。日系の人々に聞いてみると、それ程活用されているとは思えないとのこと。あれだけの設備をしたのであるから、もっともって活用してもらいたいものである。

ある一日、防衛庁から派遣されている横山繁三佐（私の現役時代の教え子）夫妻の案内でナバを初めて訪れた。度々シスコまでは来ていながら足を伸ばした事のない所だけに新しい発見だった。また友人の湯前、鳩山さんの案内でコルマ地区にある日本人墓地とサンプルーノの米軍軍人墓地を訪れた。日本人墓地は前より広くなっており、これは死去された人が多くなった事を意味する。軍人墓地は何度見ても整然としており、これを見ると私はアメリカ人の愛国心の強さを思い出すのである。日本人墓地では先祖を大事にする日系人の愛祖心が、軍人墓地では国を愛するアメリカ人の愛国心が充滿していると思うのである。

そこで私は日系人の人々にお願ひがある。それはシスコにやってくる日本人達を個人であらうと団体の観光客であらうと、シスコの名所を案内するだけでなく、是非、日本人墓地と軍人墓地と案内して頂きたいという事である。そうすることによってシスコに来た日本人には間接的にだが愛祖心と愛国心を培うことが出来、精神的にも大きな收穫

を得ると思う。また日米親善に大きな役割を果すことにも通ずると思う。

また、二年ぶりに訪れたシスコのジャパンタウンは何となくさびれたという感じがしたのは私だけの思いだろうか。二十年前には日系人一世の方々が健在でいろんな仕事や会合でもリードされていたのが今は……。時代の推移だからやむを得ないこともかも知れないが淋しいことである。

私は日本人・日系人の面倒を見るべき領事館がダウンタウンに移転したのも一因ではないかと思うのである。以上岡目八目でみたシスコの感想である。

東京在住 上村 嵐

編集注 上村氏は一源三流社社長で、各社の社員教育を行っている。防衛庁時代の二十年前、初めて当地を訪れて以来、機会あるごとにシスコに顔を見せる。今回は叔母の墓参をかねての訪問。

この記事が、どうしたものか海部首相の今回の訪米と関連があるように思われたのであえてペンをとった次第である。というのは、八月三十日私が渡米中撮した写真を整理していたら家内が大きな声で「お父さん、お父さん、海部首相がコルマの日本人墓地に行つて拝礼していますよ」とテレビのニュースを見ながら知らせてくれた。

成程海部首相が間違ひなく日本人墓地に行っているのではないか。日本の首相で戦後サンフランシスコを訪ねた人は多いと思うが、シスコの効外にあるコルマの日本人墓地を訪ねて拝礼した人は今回の海部首相が初めてではあるまいか。私は嬉しく感じた。

八月三十一日の朝日新聞の朝刊には「すべてのプログラムが私中心に作られている」という記事の中に、海部首相は「私が総理大臣として外国の地を踏んだのは今日が初めてである」と言つてシスコ市内の美術館見学のあとコルマ日本人墓地へ。警察の厳しい交通規制で、市内では交通渋滞が起きたが、それをよそにフルスピードで走り廻つたと書いてあつた。

この海部首相のコルマ日本人墓地参拝が、首相サイドの企画によるものか、現地（シスコ）の日系人側の企画によるものか、それは判らないものの、海部首相の訪米直前に私がシスコの北米新聞に投稿した前述の記事が偶然にも一致したと思われたのである。

ついでに海部首相がコルマ日本人墓地のすぐ近くにあるアメリカの軍人墓地を訪ねて、その雄大にして整然たる様子を見学されたならば、必ずや感ずるところがあつて、わが日本において総理大臣がごく自然に靖国神社を参拝されるのではあるまいかと思つたのである。（九月一日記）

郷友連盟の理念

（昭和五十三年三月總會決定）

わが国の歴史と伝統を尊び、愛国心を高め、郷土の繁栄、日本の安全を図り、世界の平和に寄与する。このため

- 一 私たちは立派な日本人としての修養に
つとめよう。
- 一 私たちは天皇を中心として全国民の団
結を固めよう。
- 一 私たちは道徳を重んじ、公共に尽くし、
国民の義務を果たそう。
- 一 私たちは国や社会の秩序正しい進歩を
図ろう。
- 一 私たちは力を合わせて郷土を、日本を
守ろう。

現代に見る間接侵略・革命（十七）

狩野 信行

（日本軍事史学会監事）

（三）ポルトガル革命（つづき）

国軍将校らによる無血革命（一九七四年四月二十五日のクーデター）後も色々なことが起った。ポルトガル領アフリカ、即ちギニヤ・ビサウ、モザンビーク、アンゴラの独立と、該地からの同胞の大群の引き揚げ、輝ける無血革命の英雄スピノラ將軍（大統領）の追放と、右派系将校陣の打倒・追放、益々左傾化する国軍運動と、本性を表わし始めた共産党の動き等々、七五年七月頃には、かつてのチェコ革命のように一挙に共産化して了うのではないかと、多くの人々を心配させるに十分な情勢となった。

但し当時のポルトガルは、いくつかの点であの東欧チェコとは異なっていたことも確かであった。例えば、一つは地理的問題で、前にも述べたようにチェコが、ソ連と国境を接した隣国同志であったのに対し、ポルトガルは欧州西端にあって赤い祖国からは遠く離れていた。二つ目は、国軍運動総会（二四〇名）なり革命評議会（二八名）なりが

リードする軍そのものが、未だ完全には共産党の手中に入っていないかったし、国民自体もあの頃のチェコのように、共産色に赤く染り切っていないかった。因みに国民の内の共産党員の占める割合は、チェコの約十％に対し、このポルトガルでは多いとは言え、それは未だに〇・七％弱であった。一九七五年七月十七日、ポルトガルの最高権力機関たる軍事革命評議会は、内閣を解散させ、ゴンサルベス（共産系）首相のみを残して、新たに政党抜き軍人とテックノクラートだけからなる「非政党内閣」を発足させた。

反共暴動

先きにカトリック系放送局「レナセンサ」が、共産系労働組合によって占拠された（六月十八日）時以降、主としてこのことを巡ってカトリック系デモ隊と共産系デモ隊との衝突が時々発生していたが、社会党が閣僚引き揚げを發表した翌々日の七月十三日には、ポルトガル北部で、放送の自由を求めるカトリック系農民数百人が、「共産党」並

びに「人民民主運動（マルクス・レーニン主義）」の地方事務所を襲撃・放火すると言う事態が発生、事後同種の反共暴動があらちちらで頻発するようになった。

そして七月十八日には、社会党は、共産系諸勢力による妨害阻止行動を排除して、北部オポルトで十五万人を集めて「民主主義要求決起大会」を開催、翌十九日には、首都リスボンで同じようにして三十万人大集会を開き、そして成功させた。このリスボン大会には、フランス社会党代表 ミシェル・ロカールを始め、多数の外国の社会党・労働党の代表が演壇に姿を見せ、国際的連帯とポルトガル社会党への支援を表明したものであった。

このようにして、従来共産党に比べて組織力が弱いと見られ、又事実そうであった社会党が、共産党及び「赤い国軍運動」に対して果敢な抵抗を試み、集会・デモを組織し、大衆的示威行動その他で成功を収め得たことは、それだけ広く国民の間に、又軍隊内部にさえも同調者の一大勢力が存在することを示すものであった。社会党は自信を深めた。また他の中道諸党派迄もこれに触発されて、反共的諸行動を果敢に行うようになってきた。

社会党は、七月三十日、右のような政治情勢を踏まえ、**「民族統一政権の樹立」**を提唱し、更にオポルト・リスボン集会の成功は、民主的な社会主義への道が国民に支

持されることを意味し、共産党の企図する革命路線は「歴史的敗北」を喫したと迄主張するに到った。

最高委員会の創設

右のような国内政治情勢の危機的高まりを憂慮した国軍運動は、種々協議を行っていたが、これより先きの七月二十五日深夜、十二時間に及ぶ討議の結果、次のような重大決定を行った。即ち、第一にゴメス大統領、ゴンサルベス首相、カルバリョ国家保安部隊司令官の三者からなる「最高委員会（別名三人委員会）」なるものを創設し、同委員会に政治・軍事両面の最高権力を集中する。第二にこれ迄の最高の権力機関であった革命評議会（二十八名）は、最高委員会の諮問機関に格下げする。国軍運動総会（二百四十名）は依然としてこの革命評議会メンバーの罷免権を持ち続けると言うものであった。

これは、最近の二週間余に亘って続いた軍部内急進派と穏健派との深刻な権力闘争において、実は、遂に急進派が勝利を収めたことを意味し、ポルトガル革命の急進化に一段と拍車がかかるものと受け取られるべきものであった。急進派・共産系のゴンサルベス首相が、その退陣を免れたばかりか、ゴメス大統領と並んで最高委員会のメンバーに格上げされたこと、並びに極左急進派のカルバリョ将軍が、この三人のトロイカ方式の一角に加わったのであるか

ら、この解釈は正しいと言えた。この最高委員会即ち「三頭政治」による急進的諸改革の推進は、左派・急進左派と、力を盛り返し始めた中道右派プラス、力を自覚し始めた中道左派勢力との対立を更に激化させずにはおかなかった。

一方、中道諸勢力の代表者でもあるゴメス大統領は、国軍運動総会で、ポルトガルが経済的に西側陣営に大きく依存している現状を強調するとともに、「これ迄殆ど人民全体が、わが革命とともにあったのに、今はそうでないことを、屈辱的なことではあるが認めなければならぬ。革命の行進は速度を増し、人民はついて行けなくなっている。革命」と指摘し、「革命の速度」「民族独立の道」「非植民地化継続の過程」等について問題を提起し、ゴンサルベス首相ら親共左派との意見の相違を見せた。

しかし、ともかく首都リスボンにおいては、共産党・国軍運動内親共派の巻返しは、成功しつつあるように見えた。他方、ポルトガル北部・中部では、カトリック系勢力等による反共暴動が続発・過激化し、それは中心部に迄及んでくる気配となり、一向に改善の兆しを見せない経済不安を背景として、社会不安は一層醸成されて行った。

国軍運動内部の変化

たとえ実権力は軍が握っているとは言え、あの制憲議會

選挙において、六十パーセント以上の有権者の支持を集め得た社会・人民民主両党の意向を全く無視して事を行うことは、いかに国軍運動首脳部でもできない。こうした中で、共産党とは一線を画して行こうとする注目すべき動きが、国軍運動の左派の内部にも起きてきた。リスボンでの社会党三十万人大会の前後、極左急進派のカルバリョ全土治安作戦司令部司令官が、共産党の要請を無視して、集会を認める方針を打ち出したこと、並びにこれ迄共産党系と目されていたクティニョ提督が、つい先き頃リスボンで開かれた社会党系の会合「社会主義国際討論会」に出席した事等はそれである。

共産党は、独占的地歩を確保するために、国軍運動と密着し、国軍運動は革命遂行の手段として共産党の組織力に依存すると言うのが、これ迄の軍共の持ちつ持たれつの関係であった。言うなれば、相互の利害関係の一致を最大の動機とする連帯であって、国軍運動首脳部が一致してクニヤール書記長の親ソ的外交路線や、共産党の一党独裁路線に迄同調している訳ではなかった。

八月二十日、アンツネス少佐ら軍隊穩健派将校（中道諸派）達は、極左派の首領カルバリョ司令官同席のもとに、ゴメス大統領と会談し、ゴンサルベス首相（左派）が早期に辞任しなければ、武力行使による追放もありうる旨の最

後通告を行うべきことを迫ったと言われる。いよいよ軍隊内の反ゴンサルベスの動きが活発化してきたのであった。

同じ日、共産党書記長クニャールは、「現在の政治危機についての声明」なるものを発表し、その中で「現在の政治危機は、その内部矛盾や意志の不一致によって、弱体化している国軍運動自体の危機」の中にもつとも尖鋭化しており、「国軍運動内部の重大な意見の不一致と紛争は、革命とその後の過程で重要な役割を果たしてきた諸分子の間に最終的な分裂を引き起こす可能性がある」と指摘し、又軍の中では「反動的・保守的な諸分子」が勢いを得つつあって、「国軍運動に縁のない、国軍運動に反対する幹部將校達の中の保守的分子が優勢を占める現実の危険」が現れており、そのような状況になれば「軍は革命の支柱ではなくなり、短期間のうちに反革命の道具になって了うかも知れない」と懸念を表明していた。

共産党は群小の左派系諸勢力と「革命統一戦線」なるものを結成し、これに軍隊内の下士官・兵士らに参加を呼びかけるとともに、ゴンサルベス首相支持のデモを組織し始めた。他方、陸軍参謀長ファビアン將軍は、八月二十二日、暗に共産党と軍内親共派を非難する声明を発表し、続いて彼は二十五日の「最高委員会」の席上でゴンサルベス共産系首相の更送を要求した。又COPCONは、その権

限の範囲内のことではあるが、従来共産党の宣伝機関の役割を果たしていた、国軍参謀本部第五課を接収すると言う挙に出、更に中部軍管区司令部將校団が、「ポルトガル中部地区陸軍は、共産グループによる独裁体制確立の試みに対して、何時でもこれを阻止する為に出動する用意がある」との警告的声明を発表する迄になった。

このようにして軍隊内部で、非共産諸勢力の結集が雪崩のような勢いで進行し、親共派と穏健派・非共産極左派との対立は悪化して、内戦への危機を増大させて行った。

共産党の孤立化とゴンサルベス首相の失脚

共産党は、八月中旬頃から当面の危機を打開するために「二面戦術」を展開し始めた。一つは、反革命の危険を強調することによって、社会党と関係改善を図るものであり、二つ目は、共産党の組織力・闘争力量に依拠した巻返し策の遂行であった。ところが、先ず最初の八月十九日、共産系労働組合「インターサンジカル」が「ファシスト暴力反対時限スト」を指令したところ、傘下の社会党系組合などは不参加、商店主の非協力や一般市民の猛反発によって、この政治ゼネストは不成功に終わった。しかし共産党は、齒を喰いしばって巻返し策を強行して行く。

(次号につづく)

ソ連取材旅行報告

川野久男
(航空士53期)

①、ゴルバチョフ政権の前までは想像もできぬソ連へ、私は八月八日(火)から八月十五日(火)までの七泊八日間、ジャルパツクツアーにて、四大都市を取材。

②、一行は添乗員以下十六名。男子八名、女子八名(うちペアー四組)。最年長者は私で、平均三十五歳ぐらいの公務員、教師が主。

まず、日航機で新潟を出発、ハバロフスクまでは約二時間(但し、週一回それも日航機のみとのこと)→一泊→ソ連機でモスクワまで八時間→一泊→寝台車でレニングラードまで八時間→二泊→キエフまで一時間半→一泊。帰りはキエフ→モスクワまで一時間→ハバロフスク→新潟着。

③、気温は十四から二十四度という、およそ日本の心地よい秋の気候だった。

〔所感〕

④、私は旧職業軍人かつ終戦後、GHQ勤務の経歴のため、許可について少々案じていた。これで、ここ四年を境いに、内外事情が大きく変化していることを身を持って経験済み。

⑤、円高とあって、紙幣の千円札を重宝がっていたので、一万円をルーブルに両替。一ルーブル約二百三十円。あとは日本円で、結構通用した。

⑥、品物が少なく、生活必需品でも配給制とあって行列をなす。ぜい沢品(アイスクリーム、チュウインガム、Tシャツ類)は長蛇の列。

⑦、衣服は一般に質素。色も地味。まるで、終戦後の昭和三十年ごろを思わせる有様。

⑧、一流ホテルと銘打っているのに、風呂はモスクワ・レニングラード以外はシャワーのみであった。

⑨、テレビはモスクワ以外は三チャンネルほどで、しか

も十二インチクラスの白黒が多い。さらに、大食堂の電灯も消エネに徹し、約三分の一しか使用されていなかった。

①、さすが、モスクワはソ連の玄関でもあり、外人観光客の注目の都市なので、クレムリン宮殿、各寺院をはじめ、地下鉄は見どころ。特に後者は地下四十から五十メートルに所在。原子爆弾にも耐えられるのが特長。

② GNPの十五パーセントを軍備に回し、レジャー費はわずか一パーセント。日本とまるで逆。欧米は八パーセントずつ半分に、理想的と言えよう。なお、治安は普通なり。

③、歴史上、ナポレオンもヒットラーもソ連の政策に失敗したのは寒さに断然強い民族だと知らなかったことから。統制力が大きく、スポーツと軍事を優先。

④、オール公務員のため、朝九時から夕方五時までの勤務時間を厳守。たとえ三分過ぎてても、だれも彼も「トオモロー」「明日来い」と。一事が万事、サービス精神の欠如にはいささか、立腹させられた。

⑤、何もかも分業式で、横の連携がとれてなくて、荷物を数える人と運ぶ人が別々。飛行機が着いても、なかなかトランクが出てこない。

⑥、社会主義国家は競争のない「平等の原理」に基き、産業の向上ははかれぬ。先進国は自由資本主義であり「競

争の原理」と信賞必罰制にのっとってサービス、技術、文化ほか、あらゆる分野で進歩向上。日本人として、誇りを感じた。

⑦、ツアーの一人が添乗員に依頼され、自宅へ電話をかけようとしたが、直通がなく、ついに家族と音信不通のまま。

⑧、写真撮影において制限が多く、非常に気を使った。ペレストロイカ（経済改革）が叫ばれ、効果をあげている姿が逐次、見受けられるものの、まだまだ一般の暮らしは苦しさから抜け出せそうもない。軍需より内需へ切り替わるのはいつのことか……。

⑨、ちなみに、人口はハバロフスク（六十万）、モスクワ（八百五十万）、レニングラード（四百八十万）、キエフ（二百四十万）。

⑩、旅行者が自分のことは自分で守るのが鉄則ならば、自分たちの国は自分たちで守るよう相互理解を深めたい。よって、情報駆使で世界的視野を広げ、各国との友好が望ましい。

（元・8・25）（以上）



忘却と哀愁の島、樺太

今昔物語

前言 (サハリン・ホロナイスク)

紀行)

扇 貞 雄

陸軍中野学校特別一期
元樺太敷香陸軍特務機関長
連 盟 顧 問

嗚呼、我等が先人達が血と汗により、地図も交通機関もない時代に、樺太アイヌの従者達にも背かれ、苛酷な自然に苛まれ粒々辛苦、苦闘又苦闘、探検し開拓し経営して来た、ロシアは全くそれに与かつてもない、疑いもなく日本の国有の領土、我が懐しき樺太よ、何処に行かんとすか。

例えば、ロシア人が樺太に入植して来たのは一八五七年頃が最初で有り、実に樺太を日露雑居の地と定めた一八五五年、日露通商下田条約の二年の後のことであつた。

私共夫婦は四五年前、心血を注ぎ、全身全霊を献げて勤務した樺太敷香に、今はサハリンホロナイスク(ホロナイ河畔の町の意)と名も変つた地へ八月四日より十日間、ソ連が我方に八月一日より八月八日迄サハリン墓参を認めると云う申出に日程を合せて、往復新潟より、ハバロフスク

經由訪問した赤裸々な報告を同志に献げる次第である。

四五年の歳月は自然以外往時の面影と云うものは殆ど見る事も出来ぬ程に変わり果てて居る実態であり、只々感慨無量の日々であつた。

日本新潟とハバロフスクの時差二時間、樺太との時差は実に三時間の遠い国となっている。

ソ連は日本人の完全引揚げ後の樺太経営に遮二無二人的資源を全ソ連よりかき集める為僻地手当一〇〇%を支給努力の成果はシベリヤの地より(シベリヤの僻地手当は四〇%、五〇%、六〇%である)、はるかに人的資源面で充実している様な感触を受けたのであつた。

又、各市多産奨励策として、子供一人に五〇ルーブル、最初子供出産に母親へ二〇ルーブルの手当が出るとの事にも不拘、ソ連全土の労働力不足はどうしようもなく、シベ

リヤ中ソ国境地帯の中国人労務者の各地に見られる如く此処樺太（サハリン）も私共の訪ねた敷香（ホロナイスク）

の材木工場には目下七〇〇名の中国人労務者が就労し本年中に、後二〇〇人を迎える為、之が受入態勢居住施設建設に努力中であるとの、副市長の言であった。

之は南部樺太真岡（ホルムスク）に於ても、目下二〇〇名の中国人労務者が就労し、本年中に五〇〇名に増員計画中であると市当局者が語っており、シベリヤ開発協力に中国の人的資源協力の実状をまざまざと見せられる思いであった。

敷者（ホロナイスク）を初め全樺太至る処、五F、六Fの団地が建設されており、日本時代の道路や日本家屋の面影等全然無く、道路も日本時代より数倍広いものが縦横に走り、各都市共必ずレーニン広場とレーニン銅像が有り、その背後市役所の建物が建設されており、大公園プール等々土地国有国らしく、広大なる面積を占める施設各所多数建設されている様は往時と異なる思いであった。

特に豊原（ユーヂノ・サハリンスク）を初め、各主要都市に見られる戦勝広場、勝利公園、栄光広場等の記念塔には、旧日本軍の残した歩兵曲、直射砲や軽戦車等が利用陳列され、之等広場の清掃管理は実に行き届き、各都市の名所として、戦争を知らざる若き男女青年子女の散策場とな

り、新婚カップルの挙式後のコースとして訪問、花束常に多く献げられている実態を目撃し万感胸を突くものがあつた。

抑々日ソの間には日本側の宣戦布告はなく、未だ有効期限内の日ソ不可侵条約をソ連が一方的に破棄侵略して来たのであり、動乱に乗じ無辜の老幼婦女子一〇万人を虐殺され一五歳以上、五〇歳以下の日本婦人で、ソ連兵に強姦されない者、只の一名もなかつた事実を思い起させられるのみで、正式戦争なるものは存在しない筈であり、ソ連がその本土と同じく青少年の愛国心涵養教育の為各地の戦勝、勝利公園等に、旧日本等の火砲等を利用、陳列誇示するが如きは只苦々しい限りであり、かかる事を行つて居る間は、真の日ソ友好親善等、盛り上る筈はない事を関係当事者は十二分に考慮すべきである事を、同行の戦争時代を知らない若いインツォーリストのガイド、通訳を初め、関係市職員に強調し、彼等より「私共はそう云う事実を初めて聞きました、真実は分りませんが、扇先生のお言葉は必ず上司に報告します」との言質を得る等、機会を捕え、之が教育に努力した次第であった。

豊原（ユーヂノ・サハリンスク）より敷香（ホロナイスク）への出発は、（豊原より敷香に行くには全乗客パスポートの必要あり）新サハリン時代にそぐわない日本時代のまま

の狭軌鉄道で、狭くはあったが一泊の旅は、トイレは日本時代よりひどいものであったが、懐旧の情そそられるものがあつたと同時に、ソ連も樺太新鉄道建設迄は手廻らぬ実状もよく理解出来たのであつた。

猶トイレ設備不良と不衛生は全ソ連十年來変りない所、民俗程度の差が日本人には堪えられないものであり便器に便座のある所は皆無、備付のトイレットペーパーがあるホテル、レストランは一ヶ所もなく、現ソ連政府の観光資源開発に重点指向の国策実施上、外貨専門土産物販売店の開設と共に、最重要事項なりと、之又ソ連の為に再三強調した事項であつた。

今後樺太訪問者の参考迄に附記する次第である。

翌早朝六時三〇分待望の敷香（ホロナイスク）着、往時樺太産業経済の中心的存在であつた王子製紙の立派な工場が見えられ、敷香で自分の記憶する旧建物は之のみであつた。

敷香駅に到着するや、駅プラットホームには敷香市長と角川なる鮮人ガイド出迎えに来ており、（日本語実に流暢、終戦時日本敷香林務署の運転手をしており、現敷香地方新聞のカメラマン六二歳）終日角川氏の献身的な案内を受ける。

視察箇所、現敷香最大企業である漁業コンビナート・コ

ルホーズ（従業員一、二〇〇名、漁船三〇隻四万屯、従業員の平均給与三〇〇ルーブル、三〇の民族が勤務、一日八時間労働、週休二日制を厳守している）ペリョースカ（白樺）幼稚、保育園（開園二五年園児一四〇名、職員四二名、親日家で愛想のよい美人園長と母を日本人に持つ美人副園長、教育現場見学や園児代表の二回の挨拶等々）百貨店買物、漁業組合（漁網工場含む）。

国際海員協会（敷香地区唯一の社交機関の役割を果しており、我々と敷香市委員会の懇親夕食会も此処で行つた。広大な日本人墓地、白木の垣根に囲まれ、四五年來、日本人の内地より訪ねる人も稀、今は華やかな写真をはめ込んだ鮮人の墓石が主に目につくのみで、先駆者達の御霊の平安を心より祈つた次第であつた）。そして私共夫婦にとり最大の関心の神戸護国神社参道に鎮る大戦殉難北方異民族慰霊祭（本年は之が十六年祭を執り行う）の原点である北方異民族の部落オタスの森の視察行であつた。

往時はホロナイ川、中洲に小船で渡つたが、現在はブヨブヨのツンドラの上に、大きな丸太材を敷き上に土とセメントの自動車道により陸続き、妻が妹の如く世話したヤクト族のオタスの杜、女酋長、ワルワラ嬢は昨年五月病死したとの事で、再会の喜は叶わなかつたが、現在二〇〇名の北方異民族が市内の各企業に就労しているとのことであ

った。

敷香（ホロナイスク）人口二万、全樺太人口五〇万、旧敷香大通りは現在「十日革命大通り」と改称され、終戦時二〇名の女性が残留しており、鮮人、ソ連人と結婚し、その子供達は夫々当地区の指導者の地位についている者が多いとのことであった。

駅よりホテルセーワエル迄の間に、五Fのアパート六棟併列しているのは往時と大きな違いであり、角川ガイドの言によれば、日本時代の有名な小林酒店の跡は今、自由市場（バザール）として繁榮しており、又当時唯一の誤薬の殿堂敷香劇場は月一回の慰問のアトラクション日は上敷香部隊よりの兵士で溢ふれ、機関全員、衛兵を残して観に行つたものであり淡谷のり子の「雨のブルース」に感涙した思い新であり、今はビオニール映画館と名も変り、外形等全然異っている。

本紀行は、私の第十二著、忘却と哀愁の島樺太今昔物語を幕府時代、大東亜戦前、大東亜戦後の三編に分ち、入手せる数多くの写真を中心として、九月より一日も早く執筆し度き為取敢、心せくまま帰国後、日時の経過せぬ内にと、文の組成、事項の前後等、不充分なるまま、充分なる推考をも加える余裕なく走り書きせし次第。

詳細は第十二著「樺太今昔物語」にこそご期待を仰ぎ度

く、何卒ご寛容賜らん事を切にお願いし、サハリン・ホロナイスク紀行を終る次第であります。

（元・8・28）

自衛官募集

男子自衛官

二等陸・海・空士

○年令 一八才以上〜二十五才未満

○初任給 一一五、八〇〇円

（食事、宿舍費は無料）
（寝具等は支給又は貸与）

○ボーナス 年三回、四・九ヶ月分

○技術 各種国家技術免許取得の機会があります。

お問い合わせ

東京地方連絡部電話〇三（二六八）三一一一
又は、各都道府県所在の地方連絡部へ

毒舌

錦帯橋は語る

岩政寛隆

(山口県支部通津郷友会名誉会長)

七月末、岩国で実施した陸士の同期生総会で地元幹事として「錦帯橋は語る」を発表したら、参加出来なかった期友の為に更に詳しく語れとのこと故、ここに筆を重ねる。

岩国の文化物語りとなれば何はにおいても錦帯橋である……山上城を取り囲む千古不加斧の自然林を水面(みのも)に映す錦川の清流、それを跨ぐ五連のアーチ橋(木造)……岩国第三代藩主、吉川広嘉公が庶民の難渋を救う一心から「流れない橋」を目的に構想を累(かさ)ねること十余年、藩主の鶴の一声で延宝元年(一六七二年)この名橋は完工した(経緯略)……爾来星霜を重ねること三百有余年、変転の時流に流されもせず泰然自若、その華麗な威容に庶民の足音を聞き、岩国人の理念の推移を見守って来た……今! この橋上に立ち、往時を偲び、今日を思ひ、明日に首(こうべ)を回(めぐ)らすとき、錦帯橋は私にこう語りかけて来る……。

君! 今は藩制がないので国に於いて往時の諸条件をもとにこの架橋が出ると思うか……この橋が有名になった後の再建・架け替えは出来ても、創造架設は恐らく出来まい。流れん橋と云っても、往時だって馬車も牛車も通行不能、上り下りの坂がそれぞれ五つもある。それに第一費用が嵩む……消費税に見る様に目前の損得の勘定は出来るが十年先百年先の読みが出来ん代議士がこう多くては架橋の提案をしても否決が関の山、例え通過しても原発同様、大衆の喧々諤々の妨害が続くであろう……幸にも延宝の昔は小さい乍らも、岩国藩は君主国で反対もあつたと思はれるが、藩を束ねる鶴の一声があつた……然かも広嘉公には「前向きに検討します」も「よきにはからえ」は一切なく、自ら陣頭にたち、身を以てその責を貫き、今日の政党政治に見る様な、失敗したら辞任で済ます安易な気持ちは毛頭なかつた……公こそ真に名君であつた。

序(ついで)だから云っておく……君達国民の中には主

権在民の憲法を民主主義の法典として、最も進歩した最高至上の憲法と思つている様だがあれは西欧の個人主義社会で庶民が帝王の重臣に抗し克(か)ちとつた後に生れた契約社会維新の爲にする典則で、西欧的自由・平等の旗印の下では乗組員全員が船頭であるか舟子かふしであり、船を進める爲に誰が舵を握るかを定める契約が必要でそれが民主主義、主権在民の憲法なのである。(選挙も数だけで質がない)

それに比べて日本国はその成りたち即ち国柄が異う。日本国は、天皇家を中心にした家族国家である。従つて主権は宗家の家長にある……明治憲法は単的に云うと、家長である天皇の憲法で政治の基本を民に置き、民本主義を謳い上げ、それを天地神明に誓はれた天皇自身の法典で、民意の尊重も鶴の一声もあつた。故に欽定憲法と云う。

主権在民の民主主義は、どこのどんな型体集団にも適用出来る万能無欠のものではない……主権在民がいいからと云つて戦場で主権(指揮権)在民(兵)として選挙によつて中隊長を選び、衆議によつて突撃が出来るか……昭和二十年の終戦も民本主義の憲法下だったからこそ、鶴の一声で終戦も整々と收拾が出来た……天皇制のよさが茲こゝに在る。

日本国民は明治の時代には、そのよさは当然のものとし

て気が付かず、大正から昭和の半ば迄はそのよさに埋没して誇りの一人歩きで躓いた……君達が「八紘一字」の聖戦と信じた戦も宇(家)の理念の無い国々からは侵略戦争と受けとられて了つた……昭和の後半から今日の平成にかけて、日本の国柄を知らない亜米利加が押しつけた主権在民の民主主義憲法に毒せられた大衆の中にはこの憲法を盾に政權獲得を目差し昭和天皇大喪の儀に見せられた様に天皇制を否定し、民主政權の樹立、即革命に走る、社会・共産の両党も生じ、消費税廃案の奸策に乗り野党連合の動きもある。

民主主義がよいのか民本主義がよいのか……国体護持か、革命か……錦の清流きんけいに禊ソノギして、再考、三考せよ……坐視する日本は潰れる。

(平成元・八・三・記)





郷土の城(27)

杜もりの都 仙台城

佐々木 信四郎

(城郭学者)

一、仙台の地

東北地方を通称「みちのく」と表現しているが、その語源は「みちのおく(陸なみちの奥おく)」からで、陸奥をさしている。

陸奥(青森県)、陸中(岩手県)、陸前(宮城県)あたりを総称して陸奥国と呼ばれていた。

陸前は東北地方最大の平野を持ち、太平洋の黒潮もあり、気候もあまり酷しくはなく、多賀城跡(特別史跡)がある。

多賀城(多賀城市)は八世紀前半に律令体制によって、陸奥国経営のために造営された国府であって、古より重要視された地であった。

多賀城よりほど近い仙台は、伊達政宗によって築城されて以来、東北の中心的存在となり、現在では随一の大都市である。

二、伊達政宗と仙台

仙台といえば青葉城、青葉城といえば政宗を連想するくらい仙台と伊達政宗は切れぬ縁えんをもっている。

伊達氏は源頼朝に従って奥州征討に功を顕わし、伊達郡(福島)を与えられ、伊達氏を名のり(元安達氏の出)、次第に勢力を伸して政宗の曾祖父たなほは祖宗の時代には戦国大名に列し、政宗(一五六七—一六三六)に至り、近隣を併呑して会津・仙道の若き太守となり、向う処敵なく、東北随一の強大な戦国大名にのし上った。

天正十八年(一五九〇)に至り、天下統一に矛を進めていた秀吉は小田原北条氏征討のため東下し、このおり政宗に臣下の礼をとるよう再三勸告していた。

秀吉と一戦を交える覚悟でいた政宗も、天下の趨勢には抗し難く、津軽・南部氏らも小田原石垣山の秀吉本陣に伺候して領国を安堵されて臣下の礼をとった以上、秀吉の伊

達征討となれば四面楚歌となるのを察し、遂に石垣山に伺候して秀吉に謁し、伊達家廃絶は免かれたが、遅参したとの理由から五十万石に削封されて、天正十九年岩出山城（玉造郡岩出山町）に居を移された。

秀吉没後の関ヶ原の戦（慶長五年、一六〇〇年）には政宗は東軍徳川方につき、西軍の主謀者のひとり上杉景勝の軍を攻め、天下の実権を握った家康のもとで、六十一万五千石（後に六二万五千石）の東北一の外様大名としての安泰を得た。

政宗はその居城岩出山では、政治戦略上からも北に偏り、交通も不便なところから、家康に新城構築を願ひ出で、その許可を得て慶長六年には仙台（それまでの地名は千代）に築城の工を起した。

三、仙台築城

慶長七年には本丸は一応完成し、同八年に政宗は入城した。

本丸の東面は広瀬川を濠として急峻な断崖をなし、搦手に当る南はこれまた七十崩から九十崩の竜ノ口溪谷が「後堅固」の要害となり、西は原始林とともに空堀を設けて、三方は固まり、北に大手口を設けた。

本丸は標高一三一崩の青葉山にあり、後方は堅固のため

土塁程度にし、本丸前面は高さ九間の美事な高石垣を築いた。

大手門から本丸入口の詰の門までは四町五十間もある。本丸詰門の左右に両櫓うしろやぐらと良櫓たつみやぐら異櫓があり（正保三年の大地震で倒壊）、天守台はあるが、天守は遂に造営されなかつた。

これは世も平穩に傾き、また幕府への遠慮もあつたであろうが、六十二万石の東北では比類なき大名であるから、その示威の必要もなかつたのであろう。

しかし、慶長十五年完成の本丸御殿は桃山風書院造りの壮麗なものであつたという。

その豪華さは松島瑞巖寺や廟所瑞鳳殿（昭和二十年焼失、戦後再建）を見れば想像がつく。

四、近世の仙台城

寛永十三年（一六三六）に襲封して、二代仙台藩主となつた忠宗は、二の丸の造営を計画した。

世は既に泰平となり、丘陵上にある本丸では政務、居住に不便を感じ、寛永十五年幕府の許可を得て、本丸北麓に造営した。

翌寛永十六年六月、忠宗は本丸より二の丸御殿に移り、以後二の丸が中心となり、本丸御殿は特別の行事以外使わ

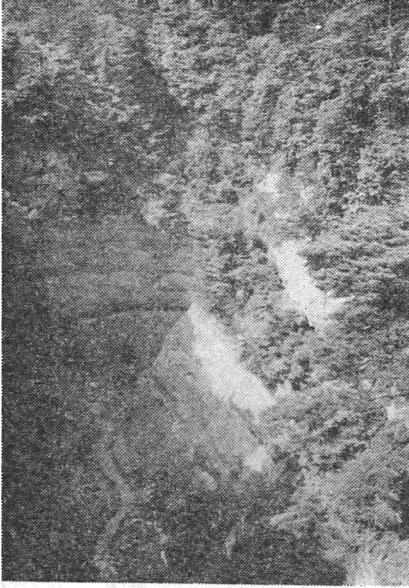
れることはなかった。

三の丸もこれと同時に増築されたと思われる。

また昭和二十年に戦災焼失するまで現存した本丸大手門は、秀吉の朝鮮出陣の折に造営した肥前名護屋城の門をその後拝領して移築したと伝えられているが、現地に造営されたのは慶長年間の創建当時か、この二の丸造営の寛永期かはつきりしない。

二層入母屋造り、瓦葺、正面柱には飾金具を打ち、両側及び裏側に華灯窓を配し、小壁の櫓門で、他に類を見ないほどの桃山風の豪華なものであった。

正保三年（一六四六）には大地震で城は大被害を受け、



搦手竜ノ口溪谷天然の要害である。

寛文八年（一六六八）にも大地震の災害を受け、文化元年（一八〇四）には二の丸御殿が焼失し、翌年再建された。

五、現代の仙台城

版籍奉還（明治二年）廢藩置縣（明治四年）の後は、仙台城は兵部省の管轄となり、二の丸には鎮台が置かれ、後に第二師団司令部が置かれた。

本丸の建物は撤去され、豪華な御殿も取除かれ、二の丸殿舎も明治十五年に焼失してしまった。

最後まで残った大手門、それに続く隅櫓と塀は、長塀のみを残して昭和二十年の米軍空襲によって焼失してしまっ

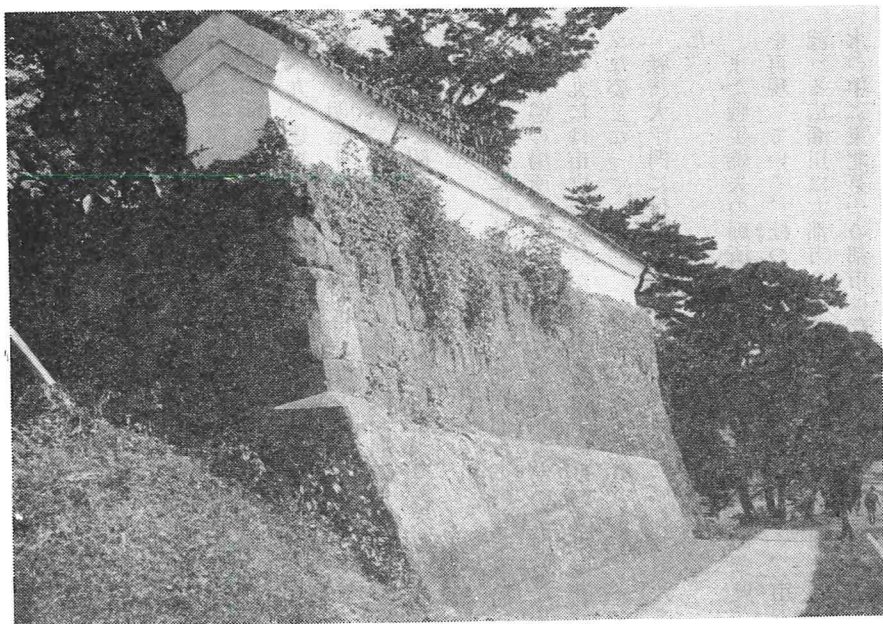
た。
戦後は一般に開放されて、本丸は仙台市内を一望できる市民の憩いの場所であり、二の丸は東北大学の敷地となり、三の丸には市立博物館が建ち、緑の中に平和でアカデミックな姿となっている。

戦後大手門に付随した隅櫓のみが旧態に模して復元された。

また戦災焼失の廟所瑞鳳殿も復元されて、その華麗な姿を再現している。杜みやの都といわれるほど緑が多く、市内を流れる広瀬川は大都市の川としては珍らしく清流で、緑と水の中に東北第一の都市は存在している。



大手重層隅櫓と長塀 隅櫓は昭和39年に、戦災焼失の旧態に模して復元、長塀は現存。



大手門長塀

自衛隊だより

体験入隊の感想

伊丹

株エマーズ

小林 高宏

最初入隊したときは、正直いって何を目的としてこんなことをやっているのだろうか、何がおもしろくてこんな役に立たないことをやらすのだろうか、と思っていました。ところが、教官の指導を受けて、答えは身近にあることに気が付きました。

それは、第一に「ケジメ」第二に「自身自身の体の管理（姿勢も含めて）」だと思っています。私は今まで、ハングリー精神を持って生きてきましたが、一番大切なことは、自分の体に異状があるときに「異状あり」と人に伝える勇気を教わったような気が

がします。

教官はじめ助教の方々には、自衛隊のこゝただけではなく、人生の意味の深さを教えていただき本当にありがとうございます。

北熊本

肥後フアミリー銀行

福原 章子

私は今回始めて自衛隊の中に入ったのですが、体験入隊を終え一番印象に残っているのは、自衛隊の皆さんの秩序ある行動、集団での統一、そして時間管理ということでした。皆さんの一つ一つの動作が機敏で、単独でももちろんですが集団となると一糸乱れず、美しささえ感じました。しかしながら、それは裏を返せば、まとまりを重視するあまり一人ひとりの個性が軽視されているようにも感じました。

たった三日間の体験入隊を見ただけで言うことはできませんが、どちらかという個性ある人材を求めている現代の一般社会との違いとも受けとれました。

そうはいいながらも、現代社会の個性を

重視するあまり自己中心的となり忘れがちな規律、節度という点は、自衛隊の人たちを見習い私たちがぜひ習得しなければならぬと思います。全体の規律が守られた上でこそ個性も生かされてくると思うからです。

体験入隊中、時間厳守、身の回りの整理整とんを何度も注意されました。これは有事の時に備えてどこに何があるかを把握し、すぐ行動に移れるように時間厳守をしなければならぬと説明を受けました。

有事の時に備えてというのはあてはまらないかもしれませんが、この二つは私たちの銀行業務の中でも、いや一般社会の中でも基本的なことと言われています。お客様との約束の時間など、時間を守らなければ信用問題にもなりますし、現金を扱う仕事ですので何事も理路整然としていなければなりません。しかしなかなか実行できなかつたりしていますので、今後はぜひとも自衛隊での生活を生かして、時間厳守、整理整とんを心がけていきたいです。

その他いろいろ考えさせられることもあ

りました。やはり外から眺めるだけでなく、内に入り体験したのでいろいろな面を見ることができ、勉強になりました。もう少し期間が長ければ、基本動作もさまになるようになったかもしれませんが、他の人には経験できない多くのことを経験できたと思っています。

船岡

山崎製パン仙台工場

伊藤 亜紀

研修の予定表をもらって「船岡自衛隊に生活体験」というのを見た時に、ぞったいにいやだと思いました。自衛隊に行く寸前までいやだやだと思っていました。私が自衛隊と聞くと、一言でいうと「暗い」とか「怖い」というイメージしかわからなかったので行きたくなかったのです。

ところがいざ行ってみると面白い人たちがばかりで、ぜんぜん自衛隊という感じがしませんでした。それに毎日が規則正しく動き、消灯も十時と決められていて、今までの私の生活とはお風呂の時間以外はだいた

い似ていて、とても住み易かったと思えました。

自衛隊から帰ってくるときに、皆さんから見送られてうれしかったです。そしてまた体験入隊してみたいと思いました。それと、できればあの服をもらいたかったなあと思いました。

もう自衛隊と聞いても「暗い」というイメージはわかなくなりました。

たくましくなった息子

福島県自衛隊父兄
会三穂田支部 熊田 英子

わが家の次男も自衛官となり、早くも四年目に入りました。入隊して半年位の時だったと思いますが、たいした理由もなく辞めたいなどと言った時があり、お父さんに一喝され、諭されて部隊へ戻ったこともありました。今ではそんなことも言わなくなり、月に一回ほど帰ってきますが、元気で勤めているようで安心しております。

中学、高校のころ、息子は漫画家とかイラストレーターとか（才能もないのに）雲

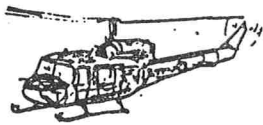
をつかむような夢人間でしたが、自衛隊に入隊してからは、身体も考えもしつかりしてきたように思っております。

今では技術修得のため、多賀城自衛隊や山形の自衛隊に行きまして、教育を受けてくるようです。

演習で山に入った時は、炊事当番などもしているようで家に帰ってきたときなど、自分の食事は自分で作って食べているので、感心したりしています。家からの勤めだと、何から何まで世話をしなくてはならないのに、私はその分業です。

これからも息子が自衛官としての誇りをもって、自分の任務に励んでもらいたいと思っております。

（以上・朝雲）



自衛隊今は昔の物語

牧野良祥(前防衛庁航空幕僚監部・一佐)

ショートル市場のガキ大将

駅弁商法で進出

路上に空箱を置き、その上に餅箱をのせての営業開始である。

ところが、開店したものの、おいらの意気込みとは裏腹に、売れ行きはサッパリなのである。ひよつとして、場所がよくないのではない、何ヶ所か場所換えもしてみたのだが、やはり思わしくない。根が意地張りのおいらのこと、これくらいで、簡単にあきらめたりはしない。客の来るのを待つより、客の大勢いるところへ出掛けていった方が、いいのじゃないかと考えたおいらは、家から持出した机の引き出しにヒモをつけ、これに餅を入れ売り歩くことにしたのである。

つまり、駅弁屋スタイルの移動式販売に踏み切ったわけだ。問題は、その売る場所である。『同業者』の多い街角では、過当競争で、もちろん駄目である。買ってくれるのは、満人のお客が多いから、満人の集まるところに行けば、きっと売れるはずだ。そういえば、ショートル市場には、大変な数の満人が集まると、誰かが話していたのを思い出したおいらは、即進出することを決意したのである。

満州にいたことのある人なら、またの名を『ドロホ



「市場」とも呼ばれていたショートル市場のことを、懐かしく想い出されるに違いない。なにしろ、失くなった品物が、翌朝堂々と売られているという不思議な市場で、戦前も日本人はめつたに近寄らないところである。ただでさえ治安があるこの時期に、そこへ出掛けて、商売しようというのだから、両親は大反対。しかし、いったん言い出したら最後、テコでも動かないおいらのこと、母さんの止める声を振り切り、おいらは朝もやをつけて家を後にしたのである。

首にくいこむ餅の重さに耐えながら、おいらはやつとの思いで、市場に着くことができた。市場は朝市で、失くなった品物だけでなく、野菜、果物、肉といった生活必需品が、道の両側にズラリと並んだ露天の店先に、ウズ高く積まれている。

奇妙な呼び声で客を呼んでいる食べ物屋のまわりは、立喰いの人でいっぱいである。うまさうな匂いがあたりたにただよ、いなかの朝市と緑ポカンとして立っていた。考えてみれば、無茶な話である。満語といえは「イ・アル・サン・スウ」ぐらいしか知らないおいらが、日本人の誰もいない所で、商売をしようというのだから……。

(つづく)
〔航空自衛隊連合幹部会機関誌「翼」前編集者〕

“花大人” 花田仲之助

森 松 俊 夫
(軍事史研究家)

松月和尚

ウラジオオストックにある西本願寺別院の
僧侶・清水松月は、どんな寒い日でも説経
や説教に骨身を惜しまず、また居留民の法
要には、誠心誠意をもって勤めていた。

この和尚こそ、参謀本部から派遣された
花田仲之助である。

仲之助は、鹿兒島城下の藩医の名家に生
れ、15歳のとき西郷隆盛の私学校に入り、
西南戦争では桐野利秋少将の配下として各
地で奮戦した。城山落城後、17歳の仲之助
は、年少の故をもって処罰されず放逐され
た。官軍の川上操六少佐の凶らいによるも
のであった。

明治14年、陸軍士官学校第6期士官生徒
に合格、正規将校として身を立てることに
なった。同期生は59名、明石元二郎、大井
成元らの傑物がいた。

明治20年、花田中尉は、念願かなって参
謀本部付となったのを機会に、将来は特殊
情報勤務に身を投ずる決意を固め、自ら進
んで現役を退いた。

日清戦争には召集されて大尉になり、歩
兵第三連隊副官として従軍した。戦後、参
謀本部に勤務したが、このとき現役に復職
し、恩顧ある川上操六將軍から大陸潜入の
準備を命ぜられた。

30年4月、花田大尉は松月和尚になりす
まし、ウラジオに入った。和尚を迎えた居
留民の間では、非常に評判が良かった。ウ
ラジオはもとより、遠隔地からも葬式や法
要の依頼を受け、ハバロフスク、ブラゴ
エ、チタ、イルクーツクにまで寺をまわ
り、ついに満州内の各地にまで足を伸ばす
ようになった。

松月和尚が、約二ヶ年にわたり秘かに偵

察した報告の価値は、参謀本部の和尚にた
いする処遇から考えると、絶大なものがあ
ったと思われる。

花田は、32年10月、少佐に進級、12月帰
国して川上大将の靈前に報告が終るや、た
だちに辞職し、鹿兒島に帰った。

満州義軍の編成

日露戦争が始まると、花田少佐は、後備
歩兵第23連隊第一大隊長に召集され、対馬
要塞の守備についていたが、37年4月、突
如、大本営陸軍幕僚部に招致された。

5月7日、情報部長福島少将から「花田
少佐は、日露戦役中、満州の志士をもって
特別隊を編成し、敵軍の左側背を脅かし、
その後方物件を破壊奪略し、兼ねて敵情を
搜索して、これを最寄りの日本軍隊に通報
すること」を命ぜられた。

花田少佐は、27日、堀米代三郎大尉、林介弥少尉、関時太郎工兵少尉、特務曹長4名、陸軍通訳8名を率いて門司港出帆、6月1日、鴨緑江畔の安東に上陸した。

当時、第一軍（軍司令官黒木大將）は、5月1日の鴨緑江作戦後、鳳凰城―連山閣―本溪湖方面の作戦経路を進撃中であつたが、日本軍の派遣する斥候も清国人密偵も、すべて行方不明であつた。

そこで第一軍は、軍の右側を警戒し、情報を集積するとともに、この方面の敵軍に脅威を与えるため、特別任務部隊の派遣を大本営に要請したのである。

そのうち判明した所によれば、ロシア軍のマドリトフ大佐が、東満州の馬賊約三千を配下に入れ、この地方の清国人官吏、警察、住民を支配していた。

花田少佐一行は、鳳凰城、寛甸（安東北東約80軒）、髮陽辺門（寛甸北西約40軒）付近を東奔西走し、兵員招募を行なうとともに兵器彈藥資材、機密費等の受領につき第一軍と協議した。

花田少佐の写真をみると、細面、長身、美男子で、豪傑肌の風貌とは縁遠く、深慮

遠謀型の優しく静かな人物のようである。中佐に進級し、花行一（ホワー・シンイ）と名乗っていたが、馬賊出身の部下たちの評判はよく、彼等は隊長を「花大人」（ホワー・タイジン）と呼んでいた。

6月22日、掌握した隊員約80名を髮陽辺門に集め「満州義軍」の結成式を挙行した。ところが翌日、レンネンキャンプ支隊約三千の襲撃を受け、苦心惨胆の末に得た義兵は四散し、一時は絶望状態に陥つた。その後、奮起して再び募兵につとめ、集り合する馬賊約150名を4隊に分け、義軍を編成した。

7月中旬、後備歩兵第30連隊鈴木大隊が城廠を攻撃するので、義軍はこれに協力することになった。当時、敵将マドリトフ大佐が城廠にいるという情報をつかんだので、義軍はいっそう闘志を燃やした。

22日、鈴木大隊の行軍が遅れている間、義軍の堀米大尉の率いる部隊が軽快に行動し、敵の背後に迂回したため、敵は驚いて退却し、花田隊長以下一戦も交えることなく城廠に入城し、初戦を飾った。敵兵力は、マドリトフ大佐の指揮する馬賊約80、

砲2門であつたことが確認された。

この戦勝は、義軍に編入した満州馬賊の特性を活用するよう巧みに操縦し、また住民を愛撫して味方に引き入れ、適時、情報を手に入れたためである。

義軍の活躍

8月、新式小銃50挺が軍から支給された。これらは露軍からの分捕品である。義軍の兵力も増大し、11コ隊に再編した。

26日、軍の遼陽会戦に策応するため、マドリトフ支隊の反撃の機先を制して、平頂山（城廠北東約30軒）を奇襲占領した。その後、ここを拠点とし、神出鬼没、各所に挺進奇襲を繰り返して、日本軍最右翼に位置して、露軍の左側背に脅威を与えた。

10月、沙河会戦が始まると、6日、マドリトフ支隊が優勢な兵力をもって平頂山に來襲した。義軍は極力抵抗したのち城廠に後退し、態勢を整えたのち、一部をもって約50軒東方の懷仁方面で遊撃戦を行った。11月初旬、給養と統御上、一隊を約50名とし、義軍の再編成を実施した。

親衛隊 一

四 奇襲隊

三 遊撃隊

三 掩護隊

三 機動隊

冬季戦に入ると、露軍は、奉天方面から兵力を転用し、歩騎兵約六千を老城―懷仁間に配備した。これに対し、堀米大尉の指揮する義軍主力は、各所で奇襲、掩撃を実施し、多数の敵兵を殺傷、捕獲し、兵器被服類を鹵獲した。

38年2月、奉天会戦のため、鴨緑江軍（軍司令官川村景明大将）が城廠に集中している際、約一千の敵が来襲したが、義軍は平頂山を確保して掩護した。

鴨緑江軍の前進にともない、敵の左側背を攪乱し、通信線を破壊し、補給車両を襲撃して、牛、羊、食糧品多数を鹵獲した。

3月14日、義軍が興京攻略を準備中、マドリトフ支隊の強力な反撃を受けたので、損害を避けて後退し、転じて、長駆、通化を占領した。通化は、彼我両軍にとつて、互に側背に迫る交通上の要点である。

マドリトフ支隊の撤隊を察知するや、義軍は急迫して20日興京を占領、つづいて、

その北方の海竜城付近で態勢挽回を図る敵（諸兵連合の兵力約2万）の動静偵察にあたった。

奉天会戦後、義軍は、各隊を遠く派遣し、活発な遊撃戦、情報収集にあたらせたが、マドリトフ支隊の行動も積極的であり、通化の争奪戦が行なわれた。

5月、松田虎次郎大尉の率いる遠征隊は、通化を出発、松花江上流地帯を偵察し、吉林省に入り、夾皮溝に進出して、露軍兵営や鉱山局、そのほか多数の物件を焼棄した。さらに6月3日、敦化（通化北東約200軒）市街を襲撃し、同地の守備隊を全滅させ、集積物資を焼棄し、ハルビン―ウラジオ間の連絡に脅威を与えた。帰途、各地の敵騎兵を奇襲して損害を与えつつ、7月1日、通化に帰着した。

このため敵軍は、吉林方面に数千の正規軍を割いて警戒にあたり、マドリトフ支隊も寛街（吉林南方約100軒）に後退した。

義軍は、さらに遊撃戦を続け戦果を挙げたが、「花大人」と敬慕された隊長以下各指揮官の馬賊・住民の操縦、情報収集の成果によるところが大きい。

9月16日、休戦命令があり、義勇軍は通化付近で他日を期し部隊訓練を実施した。

10月16日、平和克服の日に警備を解き、31日、興京で慰霊祭を施行、11月4日、義軍の解散式を実施した。

満州義軍の跡始末、とくに現地の満州馬賊出身者の処遇については、花田中佐の最も苦心し活躍した所である。幾度も軍司令部に足を運んで折衝した末、彼等の希望する者は全部を清国軍の奉天將軍の指揮下部隊に官兵として採用してもらった。

以上、筆者は、満州義軍の行動については、花田中佐の明治38年11月10日記述「遼東特別任務経歴概要」に拠って摘記した。なお、この資料の末尾には、鴨緑江軍司令官川村景明大将が花田中佐に与えた「功績覚書」（明治38年3月24日）と、満州軍総司令官大山巖元帥が松田大尉に授与した「感状」（明治38年10月5日）が記載されている。

地方だより

和歌山県支部だより

この度上芳養郷友会では、兼ねてより管内戦没者百十九柱の御英霊を顕彰すべく戦誌を刊行する事を計画し、資料等の蒐集に鋭意努力しておりましたが、漸く「留魂」と銘打って三二六頁に及ぶ立派な本を発行致しました。

関係者の発刊の言葉に始まり英霊編・資料編・軍歌集・従軍抄・分会歴史・戦時軍事年表等に編集し、当時の歴史書とも言うべき事柄を詳しく例記し後世に伝える貴重な参考資料となり、御英霊の顕彰に大きく寄与するものと思います。

この本は地区全戸に配付したとの事である。また連盟本部にも一部寄贈した。

石川県支部だより

北方領土返還要求県民大会参加

石川県支部では、年度計画に基づき、県

が主催して行なわれた、北方領土返還要求運動の一連の行事に参加した。

当日(八月二十五日)は金沢市内の繁華街である香林坊周辺で、十四時から実施された街頭署名に婦人部から三名(河村、福島、清村の各氏)を参加させ協力、引き続いて十七時三十分からは、婦人生活会館で行なわれた、県民大会に、男子会員ともども出席し大会の盛上げに協力した。また大会終了後には例年どおり、北方領土周辺で獲れた海産物等の当る抽選会も行なわれ無事終了した。

愛知県支部だより

県青少年部夏期研修会

八月三日より二泊三日の日程で、航空自衛隊小牧基地に於て、県下中、高校生を対象に「防衛講座」を開催、参加人員三十七名を数え、例年の通り多大の成果を挙げて終了した。

なお、毎年この受講者の中から多くの自衛隊(陸、海、空共)入隊者を出していることは喜ばしいことである。

今回受講者の中、高校生から、多数、積

極的な感想が寄せられたので、その一部を次に紹介したい。

○——○——○

岐阜県立高山工業高校

二年 桃原 俊介

今回初めて自衛隊の体験入隊に参加、色々と体験が出来大変良かった。隊員の動作は機敏、学生隊の行進を見ても流石だと思った。

二日目待望の体験搭乗、基地見学で普段見る事の少ない飛行機やヘリコプターを目の前で見る事が出来て感激、隊員同志の挨拶も社会とは違ったさわやかさを感じた。団体行動の大きさを改めて痛感、食事もしっかり納涼大会は楽しかった。今までの自衛隊のイメージは体験入隊により一変した。

安城高校

三年 山村 昌弘

これまで自衛隊の見学は二回、今回の体験入隊で、規律、集団生活、協力の大切さを覚えました。

航空機の見学、体験搭乗が一番の思い

出、戦闘機のコックピットに座った時は一大感激、学校で自衛隊の是非について話合ったりGNPの1%突破とか、色々の問題で話し合ったが、二泊三日の体験入隊で自衛隊を理解、平和のための自衛隊で有って欲しいと思った。

丹羽高校

二年 川田 知将

興味本位で入隊したが極めて充実した体験が出来、三日目お二人の講話を聴き現状、天皇制について深く反省させられた。

戦争を体験、経済的に発展するまでの非常に苦しい時代を生きて来られた時代の人と生まれた時から物に恵まれ、何不自由なく育った若い我々と考えの違いを痛感した。

貴重な講話、体験搭乗、集団生活大変勉強になりました。此れからの生活に活かそうと思う。有り難うご座居ました。

丹羽高校

二年 川辺 学

友達が参加したから自分もつられて何と

なく参加したが充実した三日間だったと思う。参加して良かったと思う。自衛隊に着、玄関で待たされたが、受け入れの方法は一考の余地あり。

暑い中の訓練は大変だったが、緊張の雰囲気は大好き。体験搭乗は驚きの連続十五分間は手に汗握る時間でした。意義ある体験入隊でした。

安城高校

三年 矢野 亨

短い二泊三日の体験入隊でありましたが、先ず規律の大切さを知りました。今後の学校生活、社会生活に役立てたいと思います。

それからもう一つ感じた事は、世間では自衛隊など必要ないと主張する人が居ますが、警察官や消防士の様に駆を張って、我々を守ってくれます。仮りに外国から制圧があった場合、自衛隊が無ければ国民も国も守って貰えません。

僕は大学に入れなかったら自衛隊に入隊します。

自衛隊の皆さん、日本という国を守るた

め頑張ってください。此の度は此の様な行事を開催して頂いて有り難う。今後も進んで参加したいと思っています。

春日丘高校

三年 安藤 貴

朝の早いのは辛かった。YS11の他他の飛行機にも乗りたかった。二人目の講話は大変片寄った話だと思った。米国、ソ連等の外国の兵器の事を聴こうと思ったが聴けなくて残念でした。

外国の情勢も知っていた方が良いと思っただ。小銃を打って見たかった。サイドゲームもやってみたい。

蟹江高校

三年 竹内 栄一

「ゴオッ」という音と共にプロペラが廻り、飛行機が動き出し身体が一寸後ろに倒れる様な感じがしたら、段々地面が遠くくなって行く。家やビル、車も小さくなってゆく。グラウンドで野球やサッカーの練習をしているのが小さく見える。デザイン博会場らしい処も見えた。体験搭乗は楽しかった。

私の胸奥を去来するもの 年貢なしの日のこと

伊藤喜代子
(福島県支部婦人部長)

初冬の頃ともなれば、農家の人々にとつて小閨の「年貢なし」が訪れる。当日は豆腐を切つて竹串に刺し、大火鉢に赤々とおこした炭火の周りに立てて焼き、調味された味噌を付けて大皿に盛る。くるみの実をすつて、たれ汁をしる粉のようにして、搗きたてのお餅にまぶすなど、未明から、祖母や母たちは調理にかかりきっている。

やがて、十時頃になると、米俵を積んだ荷車が、次々に、邸の前坂道を登つてくる。常時は、子供達の遊び場となつて前庭に、父たちが、新しいムシロを敷いて、荷車を迎える。運んできた人々は、汗を拭きつつ、荷車から米俵を、一俵づつおろして、ムシロの上に積み重ねていく。積み終ると、荷車を引いてきた人々は、次々にお辞儀(挨拶)をして、中に入って、座敷に設けたおいの膳に向つて坐る。祖母や母たちの手によつて、酒肴が次々に運ばれ

てきて「年貢なし」の宴はたけなわとなる。

やがて、宴が了ると、人々は土産の包みを空荷車に載せて、カラカラと音を残して前坂道をくだつていく。幼い私は、真綿入の被布を着せられて、縁側の中央の柱につかまつて、それを見送つていた。人々は、私にまで、ていねいに挨拶をして帰つていった。たくさんの米俵を前庭に積んでおいたまま、土産包みだけを空車にのせて帰つていった。幼な心にも私は「私が大きくな

ったら、帰る人々のお車に、お米を一俵か二俵、お土産と一しよにのせてあげたいな」と、沁々思いながら、それを見送つていた。柱をしっかりと握るようになつて。(ご自分が耕して作つたお米の俵を、私の家の庭においていった。その米俵は私の家の穀倉に積み取められたのだ。)

後年、私は軍人(伊藤半治)の許に嫁い

だので、弟が生家の後継者となつた。近年、弟からきくところによると、田畑の地代を当時のままにして、今も耕作していただいている由であつた。生家の甥は会社勤務であるが、肥料を入れて耕作してくれる人々があるので、荒地にせず、当時と等しく沃野になつてゐるとのことであつた。



お酢の活用

ご承知のとおり、お酢には、穀物酢（米酢、穀物酢）、果実酢（りんご酢、ぶどう酢、果実酢）、醸造酢、合成酢等色々種類がありますが、各種の料理や日常の家事に上手に使用することにより次のような効果があります。

一、科学的根拠のある効果

1、食欲増進

お酢の風味のある酸味が、唾液や胃液の分泌をうながし、食欲の増進につながると考えられる。

2、殺菌効果

お酢の主成分である酢酸には強い殺菌作用があり、多くの病原菌を10〜30分以内に殺す力もついています。

お酢だけで万全とは言えませんが、お酢の殺菌力、制菌力はかなりの効果を期待できます。

二、その他お酢は、①体内のエネルギー代謝を活発にする。②アルカリ食品だから、健康によい。③体を柔軟にする。④

黒酢や柿酢は特に効果があるとの諸説がありますが、未だ科学的根拠があるとは断定できません。

三、調理上便利なお酢の利用法

1、変色を防ぐ

カリフラワーを真っ白にゆでる、れんこんを白く煮上げる、など白く仕上げたいとき煮汁に酢少量を落とすと、材料の変色を防ぎます。

2、アクをぬく

ごぼうのささがきなどのアクをぬきたい場合、酢水につけておくとよい。

3、ぬめりをとる

里芋やあわびなど貝類のぬめりをとるには、お酢と水を同量に混ぜた酢水でしごくように洗うと、スピーディーにぬめりが取れます。

4、レバーなど血ぬきに

レバーなどの内臓は酢水の中につけておくと、よく血がぬけます。

5、小魚を煮るときに

小あじや小いわしなど小魚を煮るときには、煮汁にお酢を少量落とすと、骨までやわらかく煮上がります。

6、魚を焼くときに

魚の焼き網にお酢をぬると、網に皮がくっつかず、きれいに焼き上がります。

7、ポーチドエッグをつくるときに

お湯の中にお酢を少々落した中に卵を割り入れると、卵がまとまりやすく、きれいなポーチドエッグをつくれます。

ゆで卵をつくるときもお酢を少々落とすと、殻が割れた場合でも中身が流れ出るのを防げます。

四、家事に便利なお酢の利用

1、アルミなべの黒ずみ取りに

アルミなべの黒ずみ取りは、2倍に薄めた酢水で15分程煮立てるときれいに取れます。

2、生ごみの臭消しに

ごみ入れにお酢を少量ふりかけておくと、腐敗臭をおさえられます。

霧吹きにお酢を入れておき、生ものを捨てるときにシュッと一吹きする習慣をつけておくと、夏場も台所は快適に保てます。

3、たたみの変色を防ぐ

たたみを洗剤ぶきした後、バケツ1杯

の水(約5ℓ)にカップ4分の1のお酢を加えたものでふくと、洗剤のアルカリが中和され、たたみの変色を防ぐことができます。

4、ガラスの器をピカピカに

ガラス器は酢水で洗うとキラキラとした輝きを保ちます。

5、魔法瓶のフレークス防止に

魔法瓶の中にお酢を2、3滴たらずとフレークス(水中に浮遊するキラキラとした薄片)は発生しません。

また、フレークスが発生したときは、熱湯にお酢を1割程度加えて洗うと、すぐに取れます。

6、ガラス窓を透明に保つ

ガラス用洗剤を使用した場合、清ぶきを完全にしないと、にじ焼けの原因になります。お酢を少々落とした水で絞ったぞうきんでふけば、透明感を保てます。

7、切り花を長持ちさせる

花瓶の水1ℓあたりティースプーン4杯のお酢を入れておくと、切り花が長持ちします。

8、まな板、ふきんの殺菌に

まな板、ふきんは細菌の温床になりやすいもの。お酢でふいたり、お酢ですすぐとお酢の殺菌力により、細菌が繁殖しにくくなります。

9、カーペットの汚れ落としに

カーペットにしようゆやケチャップ、ノースなどをこぼしてしまったときには水、洗剤の順でふいてからお酢少々(小さじ2〜3杯)をしみの上に落としてふき、もう一度水ぶきするとしみがほとんど残りません。

10、銅なべの緑青とり

銅製品に緑青が出てしまった場合は、お酢を布につけて強くふきます。緑青を取った後は必ず水洗いを、水洗いをしないと再度、緑青が発生します。

11、浴槽の汚れ取り

浴槽やタイルの汚れ(湯あか、水あかやせつけんかす)は、洗いおけ1杯の水(約2ℓ)にお酢10ml程度を加えたものをスポンジにつけてこすると取れます。後は、ていねいにゆすいでおくこと。

郷友基金

名 芳 者 金 釀

(通算第5回目) (受付順略 敬称略)

(石川県支部扱)

合計 二十三万六千円

内訳 十万円 杉野勝次 他佐々木外幸 島田義松 八木田喜良 宮前和夫 浜野駒太郎 宮腰安善 銭谷武雄 土谷于治 八日市外治 中田仁行 北川喜 石坂好雄 寺井文次 森婦美子 八百為次 大田佐一

(本部扱)

越智誠一 (顧問)

半井染子 (元常務理事半井氏未亡人)



野島 一良選

和歌山 井本 友敏

天より落ち天へとどろく神の滝

空に懸る滝は天から落ちるのである。

そしてその滝壺に落ちる蘚は、また天に帰るのである。この滝は神と信仰されているのである。

ひぐらしや風さらさらと滝見寺

亡き妻につぶやかかけて墓洗ふ

彼岸花無名戦士の墓碑染めて

松山 青野さみえ

雨やみて鶏頭の彩きはまれり

雨に洗われた鶏頭の紅は、まこと深紅なのである。黄もあるけれども、私は『彩きはまれり』という矢張り赤でなければならぬと思います。

朝露のしつとりと柿のまだ青き

まろび寝の看護疲れや夜の秋

横須賀 大関 不撓

人死んで水虫遂に焼かれけり

長年の間、夏になると水虫に悩まされ

た人が亡くなったのである。それを水

虫が焼かれた、と詠ったのである。こ

の作者は虚子の「俳諧の生活」者なの

である。虚子俳話の引いてある芭蕉の

「嵯峨日記」の言葉を味つて下さい。

喪に居るものは悲しみをあるじとし

酒を飲むものはたのしみをあるじと

し

愁に住するものは愁をあるじとし

徒然に住するものは徒然をあるじと

す

平常心であれということでしょう。

渡満せし記念の小太刀終戦日

工事場のほこりにまみれカンナ燃ゆ

千葉 岡田 正秋

秋立ちし夕べに妻の遺品焼く

夫人の残されたものの中から何を焼か
れたのであろうか。感慨に無量なのである。大関氏の句の鑑賞に引いた芭蕉の言葉に住する岡田氏の句には心を強く引かれます。

颯風が去りし朝の畔に立つ

蓮根堀蛇を泥手で追いまして

松江 大橋新太郎

ここあたり事故多発地や曼珠沙華

秋雨に小便小僧立ちにけり

つながれし難民船や秋の風

金沢 高桑 與三

朝霧につつみこまれし過疎の村

山寺の風吹くままに秋桜

書を曝す軍隊手牒片隅に

思い出のこもる軍隊手牒である。曝書の

の状況、作者の感懐がうかがわれる。

神奈川 仲手川藤吉

玉音の耳に残りぬ終戦日

關伽桶に残暑の水のぬるみを作り

農を守り炎昼の草引いてをり

茨城 高須 湖城

暑さまだひぐらしの声すきとほる

稲の秋島に生れて島ぐらし

夏蜜柑採る人もなく落ちにけり

高砂 柳 穆水

誄を読み絶句してをり青風

木槿咲く哀しきまでに空の青

水割りの氷はじける夜の秋

武蔵野 鶴間 俊子

虫時雨追伸のペンふと休め

たよりをかいていて追伸のくだりになつた。ずつと聞くともなく続いている虫時雨にペンをとめて聴きこんでいる暫しの間。

一しきり雨が鳴らすや軒風鈴
かくし味は速き祖母より秋茄子

玉野 三村 白柳

滝水も秋の気配の音で落つ

風船が田の面に揺れる出穂期

昔は案山子の他に鳴子を引いたものだが、この頃の田園は色もさまざまの風船が目立っている。

仙台 若生 葛匍

蝸の杜へ夕立来りけり

夕立が来ても蝸は鳴き続けているようです。

百日紅彼岸の日ざしとなりけり

盛夏から咲き続けている百日紅も、そうだ日ざしの色も秋となっているのです。続くものと、季の移り目の感覚。

岐阜 松野 啓子

裏門を閉ざせしままに萩の庭

何でもないので見えますが、裏門が閉めてある庭で余情があるのです。

土用鰻朝まだきより焼かれけり

石川 松枝 外也

農を捨て悔はなけれど秋佗し

農業は止めてしまつて自適の生活をしているのだが、流石、秋になると少しばかり淋しいのである。手持不沙汰という思いもあるう。『秋佗し』は、ほんとうに心を搏つ。

福岡 林 藤雄

故郷や昔ながらの盆の膳

今もなほ生くるよろこび終戦日

瀬戸 中島 陶村

飼犬のしきりに吠えて草紅葉

法師蟬倉の門かけられて

土蔵の門と法師蟬のかかわり合いは無いようだが、どこか面白いではありませんか。

久留米 執行 七実

終戦日白き芙蓉の潔し

萍の静かな流れ見てゐたり

小牧 粟木 栄三

葉鶏頭彩の移りて秋深し

贈られし杖突いてゆく敬老日

佐世保 青山 宇宙

み仏に種無し葡萄を供えけり

つぎつぎに鉄骨組まる雲の峰

福島 秋葉 紅風

白芙蓉屏の高さに咲きにけり

白樺に銅像高し今朝の秋

福島 伊藤喜代子

萩揺れて峠の茶屋の力餅

空澄みて慈母観音は立ちたまふ

東京 石井 清勝

ひぐらしや由緒も深き奥の院

この残暑身を任すよりすべもなし

日立 内田 定夫

萩に佇つ身に一病の翳を持ち

萩祭病癒えたる人に逢ふ

岡山 三田 久代

とうもろこし亡き子に焼いて供へけり

『焼いて』でこの句は平凡を脱しているのです。

終戦日疎開の里で哭きしこと

富山 城山 曉舟

朝月の影引く土手や草雲雀

藤枝 渡辺 いつ

すがしきよ川辺の笹も秋の音

前月補遺

福島 伊藤喜代子

さりげなく虫網置いて孫去りぬ

孫去りて蟻の行列ほしいまま

近詠

野島 一良

隠棲のアトリエさがす西日中

髭のびて夏瘦ですと言はれけり

対座して夏瘦とのみおもはれず

〇〇〇

投句締切 毎月十五日必着(翌々月号で発表)

表)。当季雑詠 五句内外。葉書に判り

易い書体で。

宛先 186 東京都国立市東二一十二一十六

野島 一良宛



森 武次選

宮城 若生 活穂

保育園の種より育てし朝顔の蔓三メートルに咲きて終はりし

宮城 高橋 寛

しぐれても又しぐれ来る朝まだきふりむけ

ば見ゆ七色の虹

前福島 伊藤喜代子

風に揺るるすだれの音にふと立ちぬ夏休終

へ孫去りし午後

福島 伊藤喜代子

白亜なる慈母観音を仰ぎつつ鈴の音さやか

に幌馬車はめぐる

福島 渡辺 ミツ

満作の秋

前茨城 高須 行雄

暑さ増し急坂のぼる車椅子顔は笑って片手

汗ふく

暑き日の友の葬送声もなくなぜなぜ逝くと

油蟬鳴く

茨城 高須 行雄

僧の身を銃取り進む南国の心の葛藤今記し

おく

戦跡の苦楽そのまま記さんとペン取り進む

ひぐらしの声

母子思ひ吾が身を捨てて国の為戦ふ姿そのまま記す

埼玉 鈴木 幸江

都市のビル狭き敷地にそそり立つ十二階建

思はず見上ぐる

禁煙し三年を経て肺の中きれいな空気深呼吸

吸する

千葉 岡田 正秋

もう一日乾き待ちなる稲架かけに無常の夜

雨は農の宿命

亡妻の新盆供養と七ヶ寺の施餓鬼供養を終

へて安らぐ

今時の田舎寺には珍らしく施餓鬼縁日露店の並ぶ

千葉 植弘 親孝

山車を曳く粹な姿に会釈され見ればわが友

黄昏に立つ

○風通る御堂に妻と読経聞かたこと言ひ

し長男の忌に

秋風の吹き初めし庭に油蟬つくつく法師と

競ひ鳴き居り

東京 石井 清勝

初雪も麗峰高くおごそかに雲の切れ目にあ

らはれにけり

浜名湖をめぐる燈火と月光が今宵も湖面占めてをりたり

戦国のつはもの共も仰ぎつつ往来したるか

城を指す道

東京 坂 美貴子

西日受け綾なす糸を光らせて蜘蛛は金色となり動かず

憂持つ我が心内見る如く子犬は上目使ひかくるる

○聴き慣れし虫の音なれど高く燈み柔く染みくる秋草の路

東京 石橋 松茂

明治に生れ大正に学び昭和に敗れて我が人生の半ばとなりぬ

○評・内容過多、定形化に努力あれ。

東京 勝又 正弘

夏来たる集中力を絶やさずにめざせ野球の全国制覇

神奈川 大関 民雄

両陛下御健やかに内外の報道記者と初の会見

神奈川 仲手川藤吉

土佐日記京師へ戻る船旅の辛苦綴れり高齢にして

夜半の灘とどろ潮鳴りとよもすを友と酒汲みしたたか酔ひぬ

前石川 高桑 與三

戦死者の墓碑の手入れの今もよく季節の花

ばな絶ゆることなく

石川 高桑 與三

わが妻の誕生日祝ふと一本のビール分け合ひ和む今宵は

岐阜 松田 要二

紅燈は川面を染めて絃歌ゆれおみなは正に蘇州にありや

○評・表現が歌らしくない。

静岡 漆畑 邑

あかときを早咲き出でぬ爽やかにいのち短き芙蓉の花は

雑草によちて自生の朝顔は白清々と草原に咲く

前兵庫 泉 美冴

飛機消ゆる彼方に湧きし雲の峰御巢鷹山の惨事かすめて

朝涼の窓にしたたるのうぜんの色鮮やかにカレンダー繰る

○農婦とふ形ばかりの支度にも喜雨ありし朝は利鎌も光る

兵庫 泉 美冴

遠雷を耳に白菜種急ぐ雨気はらむ風にしばし吹かれて

ひねもすの雨音くらし晩鐘に早ばや点す待

宵の窓

前島根 長岡 利勝

○風の夜の湖辺にみ仏送らむと灯をかばひつつ妻と出で来ぬ

引潮に乗りしは速く外れしは急がず流燈の河下りゆく

島根 長岡 利勝

さんご樹の赤き実房の雨に濡れそこより秋の深む思ひす

咲き終へしと思ひし木槿秋立ちて又新しき蕾見せ来ぬ

○廢線となりたる駅の片隅に伝言板の文字消えずあり

岡山 三田 久代

山陰へ後醍醐天皇おちませる星山越えとか道はけはしき

柿の実の色づき初めしを見上げをる我が耳の辺に残り蚊の気配

岡山 三村 白柳

同僚の戦死や餓死の痛ましき靈安かれと靖国に祈る

菜園の生茂りたる雑草を除去して種蒔く準備なし置く

広島 河野 洋曹

雷いかづちと風と雨との大暴れ家も流れて死ぬ人もあり

高知 弘瀬清一郎

ひそやかに秋はめぐりぬ夕迫る護国の宮の
きざはしの辺に

高知 鈴木 護

小さき自分が身の何処いづこに力ある我驚かすくま
蟬の声

高知 大畑 元宏

夕風にさゆれやまさる野の草の瑞瑞しきを
いとほしみ見つ

高知 中田 憲秀

月かげを共にうけつつこの丘に酌み交せし
を忘れざらめや

高知 古谷 進

雲はやき空にかうもり飛び交ひてなまぬる
き風頬かすめゆく

高知 中平 憲白

赤き土踏みしめ来たり兄の散りしカンキポ
ートに立ちてむなしく

静かなる山河に立ちてはらからの戦さを想
ふ胸内いたみて

長崎 荒木あけみ

平成の年の始めに生れたるこの子の幸の多

きを望む

○選後小記

○今月は、三四名、一一九首のうち、五七
首を採った。

○歌の表現、一首に詠む歌の量、定型、漢
詩・俳句・川柳的でない自分の言葉で短
歌の創作を。

○原稿は、毎月一回、十五日迄、文字は、
かな・漢字共正しく。直接左記へ。

記

〒214川崎市多摩区西生田三―二三―三

森 武次宛

選者詠 痛みに向ふ

焼ごてを当つればかくも痛からむ時々とま
り足をさすりつ

面上げて足の痛みに真向へば夏鶯も止まず
鳴きつぐ

憂き事の尚も積れと祈りつつ只管歩き草を
刈つぐ

住みなれし蝦夷の空気は心地よく足の痛み
もいつか薄らぐ

酒酌めば薄野に住む人恋し足の痛みは定か
ならねど

風呂上り足をもめどもさすれども深きにい

ます神はなごます

目覚むれば即ち痛む足さすり遙かに望む浦

河の里

浦河に子馬乳のむ五冠王シンザン号のここ

は故里

大会の席に座れば海原ゆ潮さす如く痛みさ

し来る

風強き襟裳岬に来て見れば塩をとかせる如

き波立つ



大森 風来子選

東京都 石井 清勝

週刊誌女難の相への的しぼり

けじめ論七十五日経ちました

椅子二つあつさり女に取られけり

難民に栄養失調見当らず

評II国民にとつて大変深刻な問題でも、

右の句のように軽いタッチで詠み流すと心

安まるような救いがある。それが川柳であ

北海道 八木 柳雀

マドンナに政治まかせてゲートボール

次の次ねらって一応アドバルーン

人非人昔の人はよく言うた

参院で勝って社党は節を曲げ

評Ⅱこの人の作品も肩肘張らず、やんわりと風刺しているところがよい。

島根県 山根 陟

マスコミにあやつられている世相

靖国を総理になると避けて行く

消費税の魔術で勝った社党

社党対韓エネルギー頼かむり

佐世保 荒木あけみ

休耕田何時の日息を吹き返す

阿諛迎合鎧隠して野党連

公私人参拝御霊苦が笑い

元綱を切つていなく放れ駒

千葉県 岡田 正秋

現実と理想鳩首の社党

連合の見えつかくれつ舌の裏

平成の世に恐ろしき鬼子母神

広島市 坂井 愁山

政界の深層海流黒い渦

老兵が世代交代する選挙

富める国ニセ難民に悩まされ

岐阜市 松野 啓子

モナリザのほほえみを見る目白台

評Ⅱ礼宮さまの妃候補紀子さんの報導写

真に感動された句と思われる。目白台は角

栄さんの温床で、全くひさしぶりの微笑に意味がある。

難民船蒙古来ると今昔に

外国のどこへ行っても日本人

福島県 伊藤喜代子

敷島を掃き清めたきこの一票

書き終えてみれば物干かがりおり

幼な兒の手と手を結ぶアジア日教交

評Ⅱアジア日教交とは、日本アジア教育

交流委員会のことである。

久留米市 執行 友好

楊貴妃に心惹かれて捕えられ

潮まねき彼女を招く月の光

二十一世紀生き抜く孫に平和説く

仙台市 若生 勝緒

帆船模型づくり古代のロマン呼ぶ

来るのかな横文字の米食べる時

ストロボを光らせカメラ人を分け

岡山市 三田 久代

我が力いつまで利くか八十三

継ぎはぎで路線ぎしぎし野党さん

自民さんほぞ固めなよと神の声

リクルート政界汚水一掃す

それなりに貫禄ついた首相どの

めん鶏が時を告げくる世とはなり

玉野市 三村 白柳

総理業まず手はじめに米詣で

甲斐性とは言えぬ大臣棒に振る

内外に豊かな日本狙われる

富山県 城山東洋門

手火花を分けて喧嘩のおさまりぬ

甲子園土産袋に涙砂

神奈川県 内山 昇

政治家は女と新聞に小さくなり

平成を大乱とするかオバタリアン

評Ⅱオバタリアンに安保、防衛、韓国問題、原発、消費税も含めて、一体どうなるであろうか、と不安を持つ人は多い。

(選後に) 毎号熱心に投句して下さる皆さま

まの作品に、私の心も洗われる思いがします。

八月二十二日から九月二日までヨーロッパ五カ国の旅で、一千枚を越える写真

撮って帰りました。いい勉強になりました。

投句は毎月十五日に変更し、多数のご投稿をお待ちしています。

701-42 岡山県邑久郡邑久町山手 選者宛

郷友柳壇と明記



迷惑駐車をなくすために

川俣町・伊藤喜代子

(主婦)

交通ラッシュ、車のはんらん。当局の適切な指導で年々、交通マナーは向上していると思いますが最近、目立つことに「迷惑駐車」があります。道路を駐車場代わりに駐車している車があるのには驚きます。倉庫の入り口、事務所の前などに長時間駐車しておくことは考え直してほしいと思います。

人が住めば、必然的に車も増えます。駐車場の確保が必要と思います。安全な駐車場の確保によって「迷惑駐車」は解消されると思います。お互いに話し合って、公衆

の駐車場を求めてはいかがですか。「一人は万人のために、万人は一人のために」といいますが、安全な幸福な生活のために「迷惑駐車」解消の策をみんな考えてみませんか。(福島民報より)

(連盟福島県支部婦人部長)

生活の知恵

一、女の子は幼児期に必ず高価なままごとセットを欲しがる時期がありますね、わが家でもそうでした。そんなときは本物のごはんを炊かせたり、みそ汁を作らせました本人も満足顔、主人も尻尾を下げてほめたので、とうとうわが家では高いセットは買わずに通過しました。幼稚園でも自慢していたようです。その子が今は中学二年生。お菓子作りに熱中しています。食べたい一心で。

二、ピザのレタス包み

あつあつのピザを食べるとき、わが家では大きなレタスの葉に包んで食べます。手も汚れないし熱くても大丈夫。パリパリの水けたっぷりのレタスの冷たさと、熱いチーズのかかったピザの組み合わせに、子供

達も喜んで食べています。

三、買ったのは×年×月×日どこで

テレビを買ったかと思つたときはテレビの裏側を見ます。買った店と年月日を書いておくからです。使つた年月で買い換えの判断の目安にしています。

洗濯機、掃除機なども買ってすぐにフェルトペンで書いておきます。ものを大切に使うためにも、家の経済のためにも役立つ記録です。

名言

◎「永遠の若さ」を保つということは、実は成長が止まっているのにすぎない、ということわざは、まさにそれとおどりと私は思う。

◎思春期とは引越つし当日の家のようなものである。一時的にごった返しになるだけだ。

中 発 売 評 好 大

陸海軍編制人事資料集成

帝国陸海軍八十年の全貌を明らかにする画期的三部作!!
歴史研究者・戦史研究家、全国図書館、報道関係者必携!

帝国陸軍編制総覧

井本熊男監修 森松俊夫・外山操編著 上法快男企画編集
官衙・部隊・学校・特務機関等の編制と主要人事を網羅!
四六判革装函入豪華上製本/一五〇〇頁/全一卷/七万円

陸海軍将官人事総覧

陸軍篇 全二巻
上法快男監修 陸軍篇(陸士四十五期迄) 180000円
外山操 海軍篇(海兵五十八期迄) 150000円
全将官及び主要軍人の履歴を年月日迄収録した大資料!

重 版 出 来

参謀辻政信・伝奇

田々宮英太郎著 陸軍で最も著名な軍人でありながら謎と
伝説に包まれた怪物的人物の実像に迫る! 28000円

私評ノモンハン

扇 広著 ノモンハン死闘の歴史を元第二十三師団作戦
参謀が三十年の研鑽の末一挙評論する話題作 30000円

陸軍大学校

上法快男編 陸軍最高の人的能力開発機関陸大の沿革と全
貌を解明・関連資料多数収録 45000円

芙蓉書房出版

文京区弥生2-11-1 ☎03-813-4466
振替東京6-351361 出版目録無料送呈

初回は切手300円で見本誌を送ります。

実物交換会会誌

旧日本陸軍・海軍 実物

軍装品

■出品500点以上 ■定価500円 ■10日発行■

旧軍隊関係の品物、何でも現金化します

代表者 浦田雅治

交換誌 襪 襪 “S”係

〒710 岡山県倉敷市鶴形2-5-15
郵便振替口座 岡山6-11331

☎0864-22-9383



編集後記

◎戦後に於ける著しい偏向教育、これに基く憂うべき教育の荒廢、これを抜本的に改革し「日本人らしさを育てる」ためにはどうしたらよいか。この問題を教育に使用する教材の面から捉え、教育に相応しい教材選定の必要を力説した「時代を刷新する会」の所論を「教科書正常化国民会議」のご好意によりその機関誌「教育正論」から転載させて頂きました。

八月号から連載しております。多田三重子先生の、良い子を育てるための実践的所論と併せて検討を願います。

◎潜水艦「なだしお」事件の海難審判が終結し、結果として大部分の非は「なだしお」側にあると結論付けられました。この原因となった、証言、証拠は果して総て正しいものであつたらうか。

この問題について元海軍水雷学校に学び又海軍兵学校、特修科学生として航海術を究めた岡山県支部重野副会長が、その専門的立場から、海難審判に於ける審判理事陳述書等の内容を詳細検討、更に各種証言、

証拠を具体的に調査した結果この問題を詳しく解説しております。

何か事が起れば得たりとばかり自衛隊叩きに終始する偏向マスコミの実態と共に再確認を念願するものであります。

◎福岡市に於て鶴川野教育訓練所を経営されて居る、元航空士五三期の川野久男先生と顧問の扇貞雄先生から最近のソ連見聞録を寄稿して頂きました。「ソ連取材旅行報告」と「忘却と哀愁の島・樺太今昔物語」がそれでありませう。

「ゴルバチョフの「ペレストロイカ」」が「グラスノスチ」提唱以来、ソ連の実情はどう変化したのか、ソ連の国民はそれぞれどう受け止め、どう動いているのかの実情把握は我々の常に絶大な関心を寄せて居るところであります。勿論この二記事によつて直ちにその全貌を察知することは至難のことではありますが、注目して頂きソ連問題究明の資にして頂き度いと思料します。

◎屢々、珠玉のご寄稿を賜わる山口県通津郷友会名誉会長の岩政寛隆先生から「錦帯橋は語る」という貴重な玉稿のご協力を得ました。

これは、岩国第三代藩主吉川広嘉公の英断によつて、三百有余年前に設置された天下の名橋の架設迄の歴史的事実に事寄せ、混沌たる現代の時局を徹底的に打解する真髓を解明する警世、啓蒙の内容であります。真の日本人としての心を取り戻すために、熟読をお願いいたします。

◎その他続き物の記事も益々佳境に入っております。すべてお読み下さい。

◎郷友誌購読のお申込みは振替で。

郷友 (第三十五卷第十一号) 通巻第四百十七号

発行兼編集人 赤羽根 徹あきね たく

発行所 社団法人日本郷友連盟

〒一六〇 東京都新宿区若葉一

丁目二十一番地

電話(31) 四三八六

(33) 二三四一・二三四二

毎月一回一日発行

定価・一部二百六十円(送料共)

振替口座・東京四一七一八七七

印刷所 共同印刷株式会社

〒一一二 東京都文京区小石川四

の十四の十二
電話・案内台(817) 二一一一



部品から部材へ、そして今、システムへ

40年前
1本の小さな釘が
始まりでした。

一本の小さな釘をつくることからスタートした当社は、以来、
各種の特殊釘、フックボルト、ジョイナーなど、建築用の金物メーカーとして、堅実に歩んで参りました。

建築工法が進歩し、材料の多様化・高グレード化が進む現在、
アルミ化粧材、笠木、システム天井、天井・間仕切下地などのビル用建材をはじめ、
体育館・アリーナ、OAフロア、集合住宅フロアなどシステムフロア、
また、工場・倉庫などのための換気製品、排煙装置、建築用シーリングにいたるまで、
建築分野のなかで、多岐にわたっています。

わたくし達は、これからも独自の技術と独創的なアイデアで、
21世紀の建築資材の研究・開発を進めます。



金属建材のバイオンア

三洋工業

本社：東京都江東区亀戸6-20-7 ☎03(685)3452

郷友連盟！早わかり

○郷友連盟とは

わが国の美風を継承発展させ、日本の安全、繁栄、平和のために活動する愛郷、愛国の団体であります。

○おもな事業

一、国防思想の普及及び民防衛体制の促進 二、英霊の顕彰及び遺族 戦争犠牲者等の援護 三、道義心の高揚 四、日の丸運動の推進 五、反共施策の強化促進 六、青少年の指導育成等 その他

○生い立ちと現状は…

終戦後の虚脱、混乱、頹廢の状況に対して、これではいけないとの反省的気運が昭和二十七年の平和条約発効の頃から期せずして全国各地に盛り上がりました。これが

都道府県毎にまとまり、更に全国的大同団結の運びとなり、昭和三十一年十月十日、社団法人日本郷友連盟の成立を見ました。

○組織は…

全国都道府県四十七支部（支部内市・町・村）の外、一部の会社等に職域郷友会が結成されつつあります。

○政治的基本態度は…

連盟は政治的には常に中正を堅持しつつ、その目的、事業の達成をはかり、特にわが国の安危に関する事項については国論推進の原動力たることを期しております。

○憲法改正に対する態度…

連盟は現在の日本国憲法がその制定の経緯及び内容の上から不満で

あるので、元首としての天皇の地位の明確化、防衛力の保持、国民の権利義務の是正、国家祭祀等を含む自主憲法の制定を主張しています。

○教育及び労働運動に対する態度は

平和と独立の美名の下に祖国の発展を害し、社会の秩序を破壊しようとするような思想及びいわゆる偏向教育に対しては、われらは進んでこれらの温床を取り除くことに努力します。また労働運動の政治的行き過ぎを是正し、その正常な発展を期待するものであります。

○入会するには…

本連盟の趣旨にご賛同の方は手近かな当連盟都道府県支部（又は各地郷友会、分会等）に申し込んで下さい。